

SEGA SAMMY GROUP  
**CSR BOOKLET**  
**2020**

# CONTENTS

01 会社概要・グループ概要・ 主なCSR活動のあゆみ	05 事業概要 <b>セガサミーグループの 新たなチャレンジ</b>	13 マネジメント
02 編集方針・報告対象範囲・ パフォーマンスデータ(連結)	07 <b>特集</b> エンタテインメントを 通じた地方共創	23 お客さまとともに
03 TOP MESSAGE セガサミーホールディングス株式会社 代表取締役会長グループCEO 里見 治 セガサミーホールディングス株式会社 代表取締役社長グループCOO 里見 治紀	09 セガサミーグループの 復興支援活動	30 お取引先とともに
	12 新型コロナウイルス感染症への対応	34 社員とともに
		42 株主・投資家とともに
		44 社会とともに【環境】
		49 社会とともに【社会貢献】

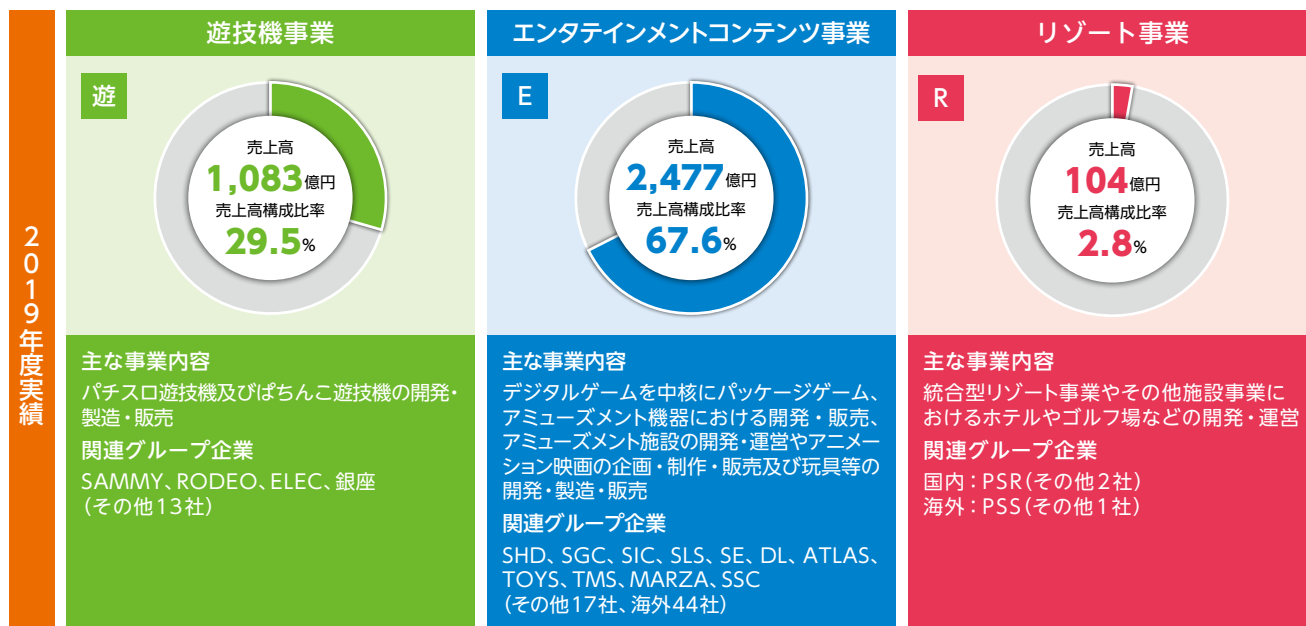
## 会社概要

社名	セガサミーホールディングス株式会社	代表取締役会長グループCEO	里見 治
本社所在地	〒141-0033 東京都品川区西品川一丁目1番1号 住友不動産大崎ガーデンタワー	代表取締役社長グループCOO	里見 治紀
設立	2004年10月1日	事業内容	総合エンタテインメント企業グループの 持株会社として、グループの経営管理 およびそれに付随する業務
資本金	299億円	社員数	8,798名(連結)

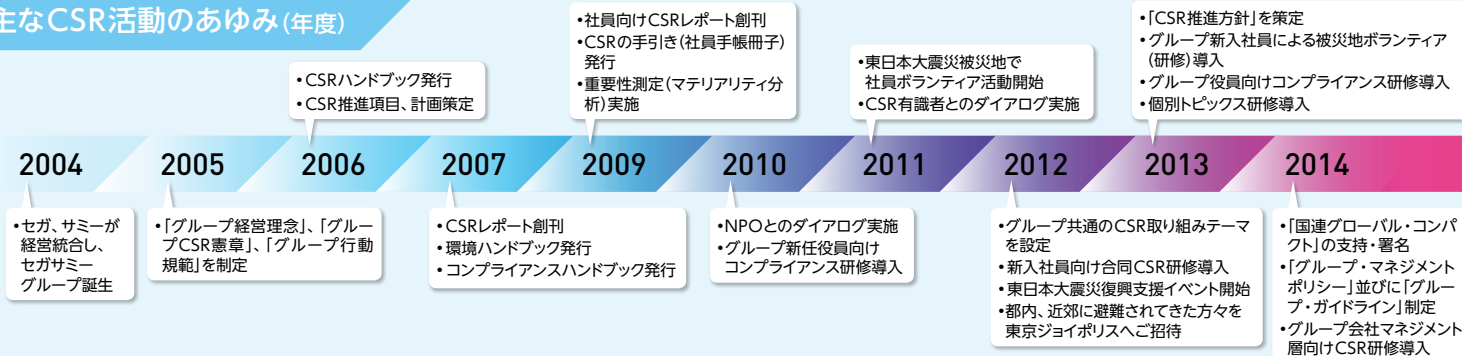
2020年3月31日現在

## グループ概要

セガサミーグループは、幅広い領域で事業展開する総合エンタテインメント企業グループとして、大人から子どもまであらゆる年代のお客さま、国内、海外のお客さまに感動体験を創造し続けています。



## 主なCSR活動のあゆみ(年度)



## 編集方針

セガサミーグループのCSR活動の取り組みを様々なステークホルダーの皆さまに報告し、コミュニケーションを図りながら活動と情報開示を充実させていくことを目的として発行しています。統合レポートに特に投資家の重視するESG情報が掲載されたことを受け、2018年より統合レポートに掲載されていない項目やCSRの観点でより深く報告すべき項目を掲載するようにしています。また社員のVOICEコーナーを充実させ、セガサミーグループの事業や取り組み、働き方をより具体的に感じていただけるようにしました。

### 【参考にしたガイドライン】

GRI「サステナビリティ・レポートिंग・スタンダード2016/2018」

ISO26000(社会的責任に関する手引き)

### 【発行時期】

2020年11月

(前回発行：2019年9月、次回発行予定：2021年9月)

## 報告対象範囲

### 【対象期間】

2019年度(2019年4月1日～2020年3月31日)

一部対象期間外の活動も時期を明示して掲載しています。

### 【対象組織】

セガサミーホールディングス(株)、(株)セガホールディングス(主な事業グループ会社を含む)、サミー(株)

### 【掲載されている略称の説明】

#### (各セグメント)

遊=遊技機事業、E=エンタテインメントコンテンツ事業、R=リゾート事業、グループ=セガサミーホールディングス(株)、エンタテインメントコンテンツ事業、遊技機事業およびリゾート事業

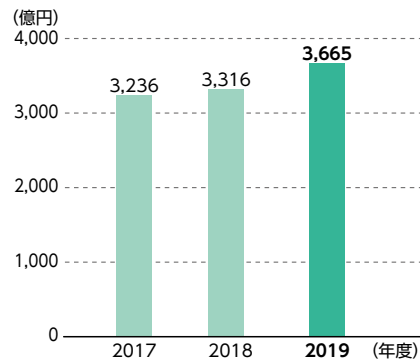
#### (各セグメントの主要企業)

SSHHD:セガサミーホールディングス(株)、SHD:(株)セガホールディングス、SAMMY:サミー(株)、ATLUS:(株)アトラス、BTF:(株)パタフライ、DL:(株)ダーツライブ、ELEC:タイヨーエレクトリック(株)、MARZA:マーザ・アニメーションプラネット(株)、PSR:フェニックスリゾート(株)、PSS:(株)パラダイスセガサミー、RODEO:(株)ロデオ、SE:(株)セガ エンタテインメント、SGC:(株)セガゲームス、SIC:(株)セガ・インタラクティブ、SLS:(株)セガ・ロジスティクスサービス、SNW:(株)サミーネットワークス、SSC:セガサミークリエイション(株)、SSGE:セガサミーゴルフエンタテインメント(株)、TOYS:(株)セガトイズ、TMS:(株)トムス・エンタテインメント、銀座:(株)銀座

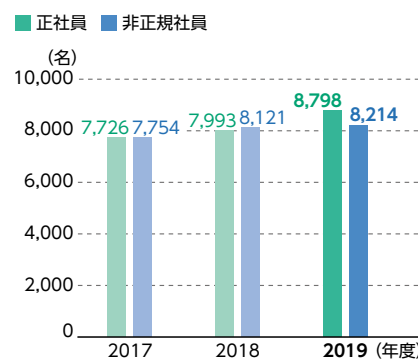
※ 略称やVOICEの所属などは2019年度のもので、2020年度の内容を記載している場合は、組織改編に伴った新社名で表記しています。

## パフォーマンスデータ(連結)

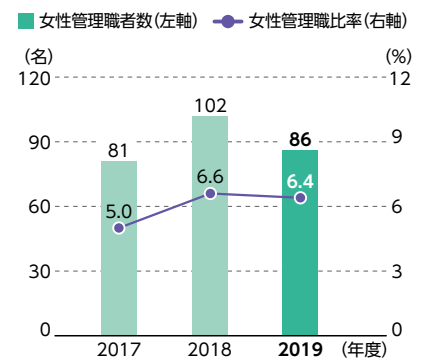
### 売上高(連結)



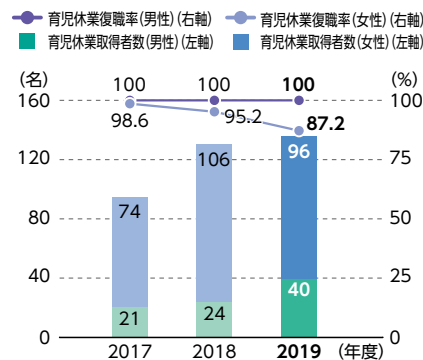
### 社員数(連結)



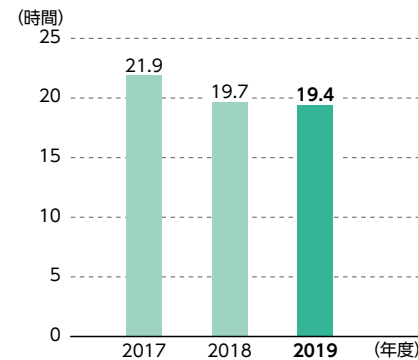
### 女性管理職者数・管理職比率<sup>※1</sup>



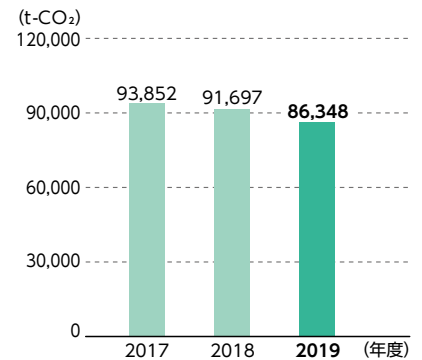
### 育児休業取得者数・復職率<sup>※1</sup>



### 月平均時間外労働時間<sup>※1</sup>



### CO<sub>2</sub>総排出量<sup>※2</sup>



※1 対象範囲・集計方法を一部変更しています。詳しくはP.41を参照ください。

※2 集計方法と対象範囲については、P.48を参照ください。

- グループ会社一般層向けCSR研修導入
- 「セガサミーグループ・サプライチェーンCSR調達ガイドブック」をお取引先へ説明、協力を依頼
- 東日本大震災被災地(福島県など)での野球教室を開催
- 特例子会社(セガサミービジネスサポート株式会社)を設立

- 平成30年7月豪雨社員ボランティア活動
- グループ本社機能を大崎駅南エリアに移転(約6,500名集結)
- 「働き方改革」 わくらほ開設(イントラ)、フレックスタイム導入、テレワーク試験導入などを実施
- 統合レポート発行

- 一般財団法人 セガサミー文化芸術財団を設立
- 「PRIDE指標」で最高評価となる「ゴールド」を受賞
- 第5回「企業ボランティア・アワード」大賞受賞
- 東京都「心のバリアフリー」サポート企業登録
- CSR公式Twitterアカウント開設

2015

2016

2017-2018

2018-2019

- サステナブル経営診断の実施
- ステークホルダーダイアログ実施
- 熊本震災被災地で社員ボランティア活動、応援イベント実施
- 「環境コミュニケーション大賞(環境省)」優良賞受賞

- 宮城県七ヶ浜町と地方創生に係る包括的連携協定を締結
- コンプライアンス研修(eラーニング)開始
- 「セガサミー そらもり保育園」の開園
- 東京レインボーパレード協賛
- 就業規則に同性カップルの扶養控除手当制度を明記
- テレワークの本格運用開始
- 副業制度「JOB+(ジョブプラス)」の本格施行
- キャンブル依存症のメカニズム解明に向けた京都大学との共同研究開始

2019-2020





## ふさいだ世の中に潤いを与え、 総合エンタテインメント企業 としての使命を果たす

セガサミーホールディングス株式会社  
代表取締役会長グループCEO

里見 浩  
Satomi, Hajime

新型コロナウイルス感染症で亡くなられた方に謹んで哀悼の意を表しますとともに、罹患された方に衷心よりお見舞い申し上げます。加えて最前線で治療に尽力されている医療関係者の皆さまを敬慕いたします。

### いま、エンタテインメントができること

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり、世界中で目に見えない不安や閉塞感が漂っています。人が苦しいとき、悲しいときに希望や喜び、勇気を与えることができるのがエンタテインメントです。そして、今まさに、総合エンタテインメント企業であるセガサミーグループの存在意義が問われています。

こうした状況だからこそ、社員一人ひとりが業界における革新者となり、まったく新しいエンタテインメントをつくり上げるといった強い気持ちをもって取り組まなければ、あっという間に時代の波に取り残されてしまいます。

セガサミーグループはいつの時代においても、総合エンタテ

インメント企業として良質なコンテンツの提供を通じて社会に潤いを与える存在であり続けます。

### 積極さと、やり抜く力を備えた人材の育成

遊技機事業では緊急事態宣言下にあっても射幸性に関する新しい型式適合試験の適合取得を進めつつ、ユーザーの支持を得られる遊技性の高い機種を開発を進めています。

5Gやクラウドをはじめとするインフラの発展によって新しいゲームプラットフォームやビジネスモデルが創出・普及することで、グローバルゲーム市場は継続して拡大されると想定されます。これを見据え、エンタテインメントコンテンツ事業では2020年4月に、セガゲームスとセガ・インタラクティブの2社を統合し、今まで以上に国内R&Dリソースを機動的に再配置し、世界市場での競争力を強化する体制を整えました。

リゾート事業では最大の目標である日本国内での統合型リゾート (IR) 参入に向けてのノウハウを蓄積し、IRを成功に導くためのビジネスパートナーとのアライアンスを結びました。

エンタテインメントコンテンツを通して感動体験を創出し、セガサミーグループがさらに飛躍するための体制は整いましたが、これは社員の成長なくしては実現しません。セガサミーグループでは、セガが掲げる「創造は生命」、サミーが掲げる「積極進取」のもと、創意工夫を繰り返し、独創的なアイデアや史上初・世界初の製品を世に送り出してきました。このチャレンジ精神のもと、自分自身が革新者であるという強い気概を持って最後までやり切った先に新しい世界が拓けます。全社員にこのような力が身に付けば、おのずと骨太でありながらも時代の流れに柔軟に対応できる会社に育っていくはずで

す。積極的に挑戦し、最後までやりきるという企業風土を浸透・深化させることが結果として持続的な成長につながると確信しています。

### 社会とともに生きる企業としての使命を果たす

セガサミーグループは2020年10月、「環境」「依存症」「人」「製品／サービス」「ガバナンス」というグループとして取り組むべき5つの重要課題(マテリアリティ)を特定しました。これらを踏まえつつ本業を通じて社会課題を解決することでSDGs達成へ貢献していきます。

こうした考えは社会の中で生かされている以上、当然のことです。本分であるエンタテインメントを軸にした事業活動や、グループの人財やコンテンツによる東日本大震災などの被災地支援といった様々な社会貢献活動に全力を注いだ結果が社会と企業の持続的な発展につながると確信しています。

我々の考えやそれに基づく企業活動・社会貢献について今後もステークホルダーの皆さまにご理解いただけるよう、セガサミーグループ全役員・社員が一丸となって社会的な責任を果たしてまいります。

激しく移ろう時代にあって、私ができることは自身の情熱やこれまで培ってきた経験を全役員・社員に伝え続け、「革新のDNA」をつないでいくことです。新しい時代の、新しいエンタテインメントを創出し、すべての人に感動体験をお届けすることで、グループミッションである「感動体験を創造し続ける～社会をもっと元気に、カラフルに。～」を実現します。



## 新たな日常に必要とされる エンタテインメント企業へ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、世界中の人々の暮らし方は急速に変容しました。今まで以上に安心・安全が重視されるとともに、エンタテインメントの存在価値も見直されつつあります。当グループは、このようなニューノーマル(新常态)に必要とされるエンタテインメントを提供していきたいと考えています。それはミッション(存在意義)に掲げる「感動体験を創造し続ける～社会をもっと元気に、カラフルに。～」そのものであるとも言えます。

## セガサミーらしいSDGsの取り組みとは

当グループは、これまでも「ミッションピラミッド」や、革新者として持ち続けるべき「5つの力\*(S.S.FIVE=突破力・共感力・決断力・自制力・徹底力)」を共有することで企業風土の統一を行ってきました。これに加えて、2020年度からは「バリュー(価値観・DNA)」についてもセガとサミーの理念を一つにした「創造は生命×積極進取」を掲げました。

同時に、それぞれの企業が育んできた良き文化を継承することも含め、多様性を尊重する企業風土づくりを積極的に進めています。一見、相反するメッセージのように思われるかもしれませんが、そもそも多様性のある事業を行う当グループが感動体験を創造するためには、様々な個性や意見が欠かせません。成長とともに洗練されていく価値観やDNAと同じように、ダイバーシティが当たり前と思える企業風土を醸成することも、持続可能な企業経営に必要です。それゆえに、ダイバーシティへの取り組みは、セガサミーグループとして社会課題解決に貢献すべく特定した5つの重要課題(マテリアリティ)の一つとしています。

マテリアリティの中でもグループの製品/サービスの提供を通じた社会課題への対応は、当グループの特色と言えます。遊びやお客さまニーズの多様化が進む中で、誰もが安心・安全に楽しめるコンテンツを生み出すためには、異なる背景を持った社員が互いに価値観を受け入れ活かすことが欠かせません。総合エンタテインメント企業である私たちは、その先駆者でなければならない責任があります。そして、必ずやこのミッションを成功に導く力があると自負しています。

依存症および環境に対する取り組みについては、物事を生み出すことで生まれる「負」の部分を真摯にとらえ、真正面から向き合っていきます。また、ガバナンスについては、意義ある議論を行うための機会を継続的に設けるとともに、取締役報酬額改訂などを通して経営の透明化も進めています。

当グループの本分である「感動体験」の提供を実現することが結果としてSDGsへの貢献になり、それこそが真のサステナブルであるという考えを全社員に浸透させていきます。

## 社員とともに持続可能な企業を目指す

社会の構造は刻一刻と変化しています。そして、冒頭にも申し上げたように、新型コロナウイルス感染症が変化のスピード



## 新しい社会に必要とされる エンタテインメントを提供する 持続可能な企業であり続ける

セガサミーホールディングス株式会社  
代表取締役社長グループCOO

里見 治紀

Satomi, Haruki

新型コロナウイルス感染症で影響を受けられました皆さまに心よりお見舞い申し上げます。また、罹患された方が早期回復し、一刻も早く日常生活を取り戻せることをお祈り申し上げます。

を大きく後押ししています。そのような中でステークホルダーから信頼され、長く愛される企業として存在し続けるためには、世間に対して後ろめたいことをしない、誠実に正しい行いを続けるという「王道」を貫くための固い決意が必要です。企業の最も大切な財産である社員にもそのことを絶えず伝え続けるとともに、社員一人ひとりが社会に対する責任感を強く持ち、行動し続けることで、これからも真に社会に貢献する企業を体現していきます。

※ 「5つの力」についてはP.13をご参照ください。

# 世界中の人びとに感動体験を届ける セガサミーグループの 製品・サービス



01 ぱちんこ

Pビッグドリーム2 激神

02 テーマパーク

オアシスパーク

01 パチスロ

パチスロ真・北斗無双

02 アミューズメント機器

DARTSLIVE 3

02 家庭用ゲーム

ペルソナ5 スクランブル  
ザ ファントムストライカーズ

02 アニメーション

それいけ! アンパンマン  
ふわふわフリーと雲の国

名探偵コナン  
緋色の弾丸

01 デジタルコンテンツ

777NEXT  
パチスロ北斗の拳 強敵

02 ゲームセンター

セガ福岡天神

02 アミューズメント施設

オービー横浜

02 アミューズメント機器

02 シミュレータービジネス

ドライビングシミュレーター

(P.05)Pビッグドリーム2 激神 ©Sammy パチスロ真・北斗無双 ©武論尊・原哲夫/NSP 1983 著作権許諾証KOM-620 ©2010-2013 コーエーテックモゲームス ©Sammy 777NEXTパチスロ北斗の拳 強敵 ©武論尊・原哲夫/NSP 1983, ©NSP 2007 著作権許諾証PGC-GAMES All rights reserved. 龍が如く7 光と闇の行方 ©SEGA 新サクラ大戦 ©SEGA それいけ!アンパンマン ふわふわフリーと雲の国 ©やなせたかし/フレール館・TMS・NTV ©やなせたかし/アンパンマン製作委員会2020 劇場版「名探偵コナン 緋色の弾丸」エウレカセブン HI-EVOLUTION ZERO ©2017 BONES/Project EUREKA MOVIE ©BANDAI NAMCO Entertainment Inc. ©Sammy 回廊熱演録 カイジ 沼 ©福本伸行/講談社・VAP・マッドハウス・NTV・D.N.ドリームパートナーズ ©福本伸行/講談社・VAP・NTV



主な  
グループ会社  
SAMMY、  
ELEC、RODEO、  
銀座など

## 01 遊技機事業

独自性の高い製品を提供するぱちんこ遊技機事業と圧倒的なブランド力を誇るパチスロ遊技機事業を両輪に展開。独自のアイデアを形にする製品開発力、販売機会を確実につかむ製品供給体制、卓越した営業力の三位一体の体制によって、市場ニーズに応える製品を提供しています。



P交響詩篇エウレカセブン HI-EVOLUTION ZERO  
回胴黙示録 カイジ 沼

近年では、高いポテンシャルを持つ版權を獲得し、コンテンツを最大限に活かす企画・開発力を備えた企業が利益を得られる市場構造となりつつあります。グループの強みを最大限に活用し、ぱちんこ・パチスロ遊技機事業でトップシェアの獲得を目指しています。

## 03

### 韓国初の統合型リゾート施設

2017年4月、韓国・仁川空港のすぐそばに誕生した統合型リゾート(IR)「パラダイスシティ」。カジノやホテル、レストラン、レジャー施設などを備え、そのすべてに極上の空間が広がります。



パラダイスシティ

韓国

## 02 エンタテインメントコンテンツ事業

デジタルゲームを中核にアミューズメント機器事業、コンシューマ事業、アミューズメント施設事業、玩具・映像事業まで幅広くエンタテインメントを提供しています。特にスマートフォンやPCオンラインゲームを中心としたデジタルゲーム分野は、当グループの大きな成長領域としてセガゲームスを軸に事業の拡大を目指しています。



maimai でらっくす ©SEGA



マウスでさせかえ! すみっこぐらしパソコン



夢ペット・産んじやったシリーズ ©SEGATOYS 2019



ぶよぶよ!!クエスト ©SEGA

また、2015年には市場環境の変化や消費者ニーズにいち早く対応できる体制を構築するため、全事業をそれぞれの開発・製造から販売まで一貫した経営体制に再編・分社化しました。これにより、迅速な意思決定を行う体制が整いました。

主な  
グループ会社  
SHD、ATLUS、  
DL、MARZA、SE、  
SGC、SLS、SIC、  
SSC、TMS、  
TOYSなど

## 03

### ゴルフ場



ザ・ノースカントリーゴルフクラブ

## 02 家庭用ゲーム



主な  
グループ会社  
PSR、PSS など

## 03 リゾート事業

統合型リゾート(IR)施設や複合リゾート施設の運営を手掛けています。2017年4月に開業した韓国初のIR施設「パラダイスシティ」では、カジノオペレーションをはじめIR施設の開発・運営を行い、国内IR事業参入を目指して必要なノウハウを蓄積しています。また、宮崎県にある日本有数の複合リゾート施設「フェニックス・シーガイア・リゾート」では、セガサミーグループが培ってきたエンタテインメントノウハウを施設運営に活用し、これまでにないリゾート空間を創造・提供しています。



パラダイスシティ



フェニックス・シーガイア・リゾート



# エンタテインメントを通じた地方共創

セガサミーグループは2011年3月の東日本大震災発生直後から、津波で被害を受けた宮城県七ヶ浜町の復興を支援してきました。継続的な支援を行う中で「セガサミーグループにしかできない貢献はなにか」と考えた結果、エンタテインメントを通じた地域課題の解決の実現を七ヶ浜町とともに目指します。私たちにしかできない地方創生で七ヶ浜町を「元気に、カラフルに。」していきます。

## これまで

### 「復興」、そして「創生」へ

セガサミーグループは東日本大震災発生直後より、社員ボランティアによる被災がれき撤去などの復旧作業、被災地を“笑顔、元気に！”をテーマとする応援イベント開催など、さまざまな支援活動に取り組んできました。



そして、2019年にグループ初となる自治体との包括的連携協定を締結し、「七ヶ浜町の未来に向かって共に創る」という思いを込めて「地方共創」プロジェクトと名付けました。



セガサミーグループ社員が2019年7月1日より町の復興支援員として出向し、新規事業の創出や地場産業支援、地域ブランドの推進など、地域経済の持続的な発展につながる活動に従事しています。

#### セガサミーグループの七ヶ浜町での主な活動記録

- 2011年6月～ がれきや汚泥の撤去など
- 2012年 七ヶ浜町で初の応援イベント
- 2016年～ 新入社員研修を実施

## 現在

### 「地方共創」プロジェクトにおける主な取り組み

#### セガサミーグループ／七ヶ浜町双方での取り組み

- セガ・ロジスティクスサービスのドライビングシミュレーターを導入
- 「七ヶ浜町産業まつり」に出展、売上金を全額寄付
- セガサミーグループ本社社員食堂で七ヶ浜町の食材を使ったイベントを実施

出向した社員は町職員として、町が抱える課題解決に取り組んでいます。その一つとして、高齢ドライバーによる交通事故の抑止と運転寿命の延長につなげようと、「ドライビングシミュレーター」を導入しました。自治体では全国で初めての取り組みです。電車がいない七ヶ浜町では高齢者のマイカー需要度が高いため、身近に運転技術・運転脳年齢をチェックできる機会を提供し、さらには、ドライビングシミュレーターをきっかけとした地域交流の促進効果も期待されています。



また、グループのリソースを通じて町の方々笑顔を届けようと、役場職員と連携し、地域イベントに積極的に参加しています。七ヶ浜町産業まつりでは、出展ブースの売上の全額を町観光協会に寄付しています。現地での活動に加えて、セガサミーグループ社員にも町のことをもっと知ってもらおうと、出向者の発案でセガサミーグループ本社社員食堂で「しちがはまー食ー」と題して、七ヶ浜町産食材を使用したメニューの提供や産直販売会を開催しました。



### 地方共創プロジェクトに参加して

### 町の人たちの「思い出に残る仕事」を続けたい



サミー(株)  
副町長付き(防災対策室兼長寿社会課勤務)復興支援員  
石田 浩史 (Ishida, Hiroshi)



サミー(株)  
政策課 復興支援員  
蛭田 賢和 (Hiruta, Masakazu)

業務を通じて感じるのは、住民一人ひとりの「顔が見える町」であるということ。町のために何ができるかを考え、日々新たな発見があることを信じて業務に邁進しているうちに、あっという間に1年が過ぎました。町の皆さまに「七ヶ浜に詳しくなった」とお声がけいただくこともあります。出会った方々のご厚意やご協力があったからこそです。セガサミーグループの社名を知らなくても、私たちがこれまで行ってきた「生涯学習フェスティバル」をご存じで、お孫さんとの思い出を笑顔でお話しいただいたことがとても印象的でした。引き続き、私たちの活動が町の皆さまの心の中にいい思い出として残すことができるよう、尽力したいと思います。

#### 職員のある1日の時間割

8:30	始業	地域資源の調査とともに課題の設定や施策を検討
9:00	町内視察	
12:00	昼休憩	畑の手伝いや地域の方々との意見交換
13:00	会議・デスクワークなど	
17:15	地域交流	
19:30	プライベート	





### 七ヶ浜町ってどんなところ？

宮城県中央部に位置する面積13.27km<sup>2</sup>の東北で一番小さな町です。日本三景の一つである松島の南部で三方を海に囲まれた豊かな自然がありながらも、東北最大の都市である仙台市から20km圏内という好立地です。東日本大震災では、津波で町の面積の3分の1以上が瞬く間に飲み込まれ、美しい海辺の風景に大きな傷あとを残しました。

東日本大震災発生前(2011年)との人口・世帯数比較 (2020年(令和2年)7月1日現在)

人口	18,506人
震災後	▲2,349人 (-11.2%)
世帯数	6,733世帯
震災後	165世帯 (+2.5%)

## これから

### 七ヶ浜町の未来に、総合エンタテインメント企業だからできること

七ヶ浜町は、被災直後の2011年4月には2015年度までを計画期間とする「七ヶ浜町震災復興計画前期基本計画」を策定、現在は2020年度までの後期基本計画に取り組んでいます。

復興の完遂は間近ですが、計画の目的は震災以前の姿を取り戻すことではありません。町がにぎわい、そこに住む人たちに笑顔があふれ、心が満たされてこそ、真の復興が実現します。

地方共創プロジェクトでは、小学校におけるプログラミング教室や子どもから年配者までが楽しめるスポーツダーツ、eスポーツ大会開催による地域内外の交流など、セガサミーグループが持つ総合エンタテインメント企業としてのノウハウや製品・サービスを効果的に活用していきます。これまで互いに育んできた絆をより深め、手を取り合いながら、住んでいることを誇りに思える七ヶ浜町を行政や住民とともに創り上げていきます。



住民が参加したグループワークの様子

#### ●長期総合計画と総合戦略の関係

##### 長期総合計画

##### 基本理念 (目標年次: 2020年度)

自然との調和により、人間らしく生き、快適で住み続けられるまちづくり

うみ  
自然との調和

ひと  
人間らしく生きる

まち  
快適ですみやすい

##### 総合戦略

重点ビジョン(目標年次: 2060年度) 人口減少と地域経済縮小の克服



## VOICE



七ヶ浜町長 寺澤 薫氏

### 町に新しい風を吹き込む「セガサミーイズム」に期待しています！

セガサミーグループの皆さまには、本町の復興に多大なるご支援、ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。2019年は、セガサミーホールディングスとの包括的連携協定締結や社員の派遣など、本町とセガサミーグループとのつながりがより深まった1年だったと感じております。

2019年7月に着任以来、復興支援員としてすっかり町に溶け込まれ、様々な場面においてセガサミーイズムとでも申しましょうか、存在感を示してくれます。皆さまには、役場をはじめとし新しい風を吹き込んでいただいて、大きな刺激をもらっております。今後、薫陶を受けた若い職員の活躍を大いに期待するところであります。

震災から10年目を迎えましたが、町民の心の復興はこれからも続いてまいります。加えて、新型コロナウイルス感染症は、今後のまちづくりをはじめ、あらゆる場面において影響が懸念されます。

1日も早く平穏な日常が戻ることを祈りつつ、皆さまからの心温まるご支援のもと、今後もより一層、力強くまちづくりに邁進してまいりますので、これからも長いお付き合いの程よろしくお願い申し上げます。



笑顔 元気 を届ける!

セガサミーグループの

# 復興支援活動

セガサミーグループは東日本大震災直後から、継続的な被災地支援を行ってきました。現地の要請に合わせて、グループのリソースを用いた多種多様なボランティア活動を実施しています。

東日本大震災 活動のあゆみ

2011年3月11日  
14時46分  
東日本大震災 発生

2011年4月上旬  
社員ボランティア  
派遣決定

## 活動アラルト

(2011年3月から2020年3月時点)

支援金

約 **4** 億円

社員ボランティア活動&応援イベント

回数

計 **100** 回

参加人数

のべ **1,237** 名

来場者数

のべ **35,620** 名

(セガサミーグループコーナー  
遊技者数)

## 東日本大震災 被災地応援 イベント

2019年度は宮城県塩竈市、東松島市、女川町、七ヶ浜町、南三陸町にて、遊技イベントおよびスポーツイベントを開催しました。

遊技イベントでは、社員ボランティアが運営全般を担当。キラデコシールアート、クラフトスマートボール工作、スマートボール、ダーツ、フラッシュパッド、UFOキャッチャーなど、セガサミーグループのリソースを活用した遊技コーナーのほか、社員による創作綿あめを用意し、全世代が楽しめる機会を創出しました。

### 【おながわ秋刀魚収穫祭 2019】

(株)サミーネットワークス マーケティング本部 メディア営業部

廣澤 潤一 (Hirosawa, Junichi)

初めてのボランティア参加でした。最初は子どもだけで挑戦していたゲームに途中から参加し、本気で攻略しようと徐々にヒートアップする保護者もいらっしゃいました。親子でゲームを楽しむ姿を目の当たりにして、家族で楽しめるゲームを提供することの重要性を実感できました。

また、普段交流のないグループ会社の社員と一緒に活動できたことで、セガサミーグループとしての一体感を感じられました。「感動体験を届ける」という目的での参加でしたが、私自身が来場者の皆さんから感動をいただき、参加して良かったと実感しました。



### 【東松島夏まつり 2019】

(株)セガゲームス

国内アジアパブリッシング事業本部

プロモーション統括部 グラフィックデザイン部

渋田 俊輔 (Shibuta, Shunsuke)

今までボランティアの経験はありませんでしたが、以前から興味があり、初めて参加しました。

通りかかる方々へ挨拶やゲームの説明をしていると笑顔が多くいただくことができ、エンタテインメントの可能性を強く感じる事ができました。地域やグループ会社の社員とともにイベントを盛り上げていく経験は個人ではなかなか得ることが難しいと思いますが、そのサポートを会社が行うことはとても意義があることであり、ボランティア参加者が増えることを期待します。



### 【メリークリスマスin東松島 2019】

(株)ダーツライブ

DLサービス戦略本部 SPORTS推進部

神保 友香 (Jimbo, Yuka)

ダーツコーナーを担当しました。1回のプレイに時間がかかり、待ち時間が長いうえに、賞品も獲得しづらいコーナーでしたが、絶え間なくたくさんの方々に遊んでいただきました。中には、何回も挑戦してくれたり、「来年も来てくださいね」と言ってくれる子どももいて、楽しんでもらえたと思います。私は2回目の参加でしたが、1回目より緊張が解けて、お客さんと同じように楽しめました。

震災から9年が経ち、実際に震災を経験していない子どもも増えてきましたが、私たちの「人を楽しませたい」という初心を忘れないためにも、この活動は続けていきたいです。





2011年  
6月29日  
第1回 社員ボランティア活動実施

がれき撤去など  
インフラ復旧を支援

復旧期

2011年  
12月18日  
第1回 被災地応援  
イベント実施

セガサミーグループの  
リソースを活用した  
心の復興を支援



復興期

2019年4月  
七ヶ浜町との  
包括的連携協定締結



活動継続

【水泳教室 with 松田丈志 2019】

セガサミーホールディングス(株)

CSR・SDGs推進室

石井 優貴 (Ishii, Yuki)

今年で4年目を迎える水泳教室も、大盛況のうちに終わることができました。

トークショーでは、純粋に「仲間を大事にしよう」ということだけでなく、「仲間を大事にすると結果も付いてくる」ことや「仲間を得るためにも努力が必要である」ことを教えていただきました。松田氏のお話からは私たち大人も学ぶことが多く、子どもたちに感動体験を提供する、という本来の目的もさることながら、同席された保護者にも新たな価値観や感動を提供できたと感じました。



【2019 南三陸町産業フェア】

セガサミーホールディングス(株)

財務経理本部 グループ経理統括部

エンタテインメントコンテンツ経理部

真野 由季子 (Mano, Yukiko)

前年度に続き、2回目の参加でした。今回はスマートボールを担当しましたが、開始直後から徐々にお客さまが増えていき、終了時間まで行列の絶えない現場となりました。運の要素が大きいゲームですので「777」が出た時は自分が獲得したかのように大喜びしてしまいました。

参加者とお話する機会にも恵まれ、また、地元の高校生もお手伝いに参加してくれたり、多くの方々と交流ができて充実した2日間となりました。普段の業務ではお客さまがゲームをして遊ぶ姿を見かけたり、ほかのグループ会社の社員と話す機会はほとんど無いので、CSR活動を通して貴重な体験ができました。



【野球教室with斎藤隆 2019】

セガサミーホールディングス(株)

総務人事本部 グループ総務統括部 ファシリティサービス部

天沼 秀樹 (Amanuma, Hideki)

私が野球部に在籍していた第47回JABA東北大会(2016年)以来、久々に宮城県を訪れました。その時は、東日本大震災から復旧したとはいえ、まだ爪痕が残っているような印象を受けました。

しかし、震災当時まだ小さかった子どもたちが立派な中学生となり、今回の野球教室に笑顔で参加している姿を見て、私たちが元気もらいました。斎藤隆さん・セガサミー野球部OBからの指導を受けているあの真剣な横顔は忘れられません。

七ヶ浜の子どもたちと野球を通じ、とても楽しい触れ合いの時間を持てたことにより、「野球って素晴らしいな」と再認識しました。



スポーツイベントでは、元・東北楽天ゴールデンイーグルス投手の斎藤隆氏を迎えての野球教室や、セガサミーグループアンバサダーの松田丈志氏による水泳教室を実施。子どもたちの夢や可能性を育む活動を行いました。





## 2019年台風15号、19号、 千葉県豪雨社員ボランティア

2019年8～10月にかけて台風15号、19号をはじめとする豪雨が発生し、日本各地に甚大な被害をもたらしました。その被害の大きさに鑑み、サミー川越工場がある埼玉県川越市と、セガ・ロジスティクスサービス佐倉事業所および佐倉南総事業所がある千葉県佐倉市で、社員ボランティア活動を行いました。

### 【千葉県佐倉市】

(株)セガ・インタラクティブ

企画設計生産本部

稲 幹男 (Ina, Mikio)



20代の生活基盤だった佐倉市で人生初のボランティアを行なったことは感慨深いものがありました。佐倉市の被災状況を報道などで見る度に心配していました。

今回の活動は、壊れてしまった農家のビニールハウス解体撤去という複雑なものではありませんでしたが、段取りを含め作業指示をくださった方々の指導の下、順調に怪我無く作業ができました。被災された方の笑顔が見られてとても良かったです。



### 【埼玉県川越市】

サミー(株)

生産統括本部 生産企画本部 リユース推進部

横関 英雄 (Yokozeki, Hideo)



川越市は私が幼少のときに遊んでいたところです。少しでも力になればと思います、初めてボランティア活動に参加しました。

活動当日、午前中は河川の氾濫で流されてきた木材やごみなどを集め、午後は床上浸水した発達障害者支援センターで清掃を行いました。流れ込んだ泥は何回かき出しても無くならず苦労をしましたが、なんとか目標の一部屋をきれいにすることができました。参加したメンバーとも話しましたが、大の大人が数人集まってでもできることはほんの少し。一晩で被災し復興には何ヶ月何年もかかると思うと、自然災害の恐ろしさと同時に人間の無力さを実感しました。

今後も業務の調整をし、ボランティア活動に参加したいと思います。

### 【東京都八王子市】

セガサミーホールディングス(株) 野球部

北阪 真規 (Kitasaka, Masaki)

野球部の活動拠点がある八王子市内は河川が氾濫し、セガサミー野球場近くの斜面も崖崩れを起こすなど、甚大な被害を受けました。週末には戸吹清掃工場主催の野球教室を予定していましたが、中止となったこともあり、高尾地区でのボランティア活動に参加させていただきました。

主に土砂、ガレキの撤去をお手伝いさせていただきましたが、雨水を含んだ土砂は非常に重く、土のう袋に入れトラックへ運ぶ作業だけでも一苦勞でした。高齢者の多い地域でもあり、喜んでくれる住民の皆さんの顔を見ることができたので、本当にやり甲斐のある活動になりました。

現地で感じたのは「若者の手が足りない」ということでした。またお役に立てる機会があれば率先して参加したいと思います。

## 第5回企業ボランティア・アワード大賞受賞

セガサミーグループは、継続的な東日本大震災復興支援活動や各地での社員ボランティア活動が評価され、社会福祉法人 東京都社会福祉協議会が実施する「第5回企業ボランティア・アワード」において、大賞を受賞しました。授賞式にはセガサミーホールディングスCSR・SDGs推進室長のほか、社員ボランティア活動経験者2名、復興支援団体の代表者1名も列席。被災地域団体との連携や社員参加型の活動に対し、多くの方から称賛をいただきました。

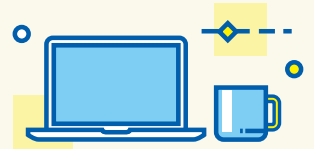


### 2020年度新入社員研修について

2013年度より、グループ新入社員研修の一環として東日本大震災の被災地訪問を実施しています。例年は4月に実施していますが、2020年度は新型コロナウイルス感染症対策の観点から、訪問を延期(実施時期未定)しました。



# 新型コロナウイルス感染症への対応



新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、既存の生活様式を揺るがす大きな変化を社会にもたらし、企業は安心・安全に関わる施策や働き方の見直しを迫られました。当社グループも国や自治体の方針に従い、アミューズメント施設やリゾート事業の営業自粛、リモートワークの積極的な実施、社員と家族へのマスク配布など感染予防・拡大防止に努めています。

## 商業・遊技施設における対応



新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大を受けて、当社グループが運営する施設に関して、お客さまと社員の安全確保を最優先に考え、現在も対策を継続しています。2月29日に他施設に先駆けてオービィ横浜の臨時休館を決定した以降も、地域の感染状況や自治体の方針に沿って商業施設やゲームセンターを休業しました。緊急事態宣言解除後から順次営業を再開し、換気や不特定多数の人が触れる機器の都度消毒、入場制限などの3密(密集・密閉・密接)回避に取り組んでいます。加えてスタッフの体調管理やマスク着用、こまめな手洗い・うがいや消毒などを徹底しています。



また、全国の施設向けに計124,700枚のマスクを配付したうえで、お越しいただいたお客さまにもマスク着用や消毒、ソーシャルディスタンスの確保、発熱などの症状のある方へのご来場のご遠慮といったご協力をお願いし、感染拡大防止に努めています。

## 本社・グループ企業における対応



お客さま、お取引先さま、社員とその家族の安全確保と感染拡大の抑制・早期終息に向けて、本社およびグループ企業の社内向け対策にも注力しています。

緊急事態宣言の発出時には、会社が特別に許可した経営維持・企業存続のための重要業務に携わる必要最低限の人員を除いて全社員を在宅勤務にしました。

当社グループは2019年4月から働き方改革の一環として在宅勤務制度を導入していたこともあり、生産性の低下もなくスムーズにリモートワークへ移行できました。全社在宅勤務によるコミュニケーション不足や閉鎖された状況下で社員の不安やストレスの軽減を目的に、社長とのオンラインミーティングを実施し、グループとして改善すべき点や課題を多くの社員と共有することができました。

宣言解除後も在宅勤務、時差出勤を推奨するとともに、出社前

## 自治体へのマスク寄贈



エンタテインメントを通じて、グループミッションである「社会をもっと元気に、カラフルに。」を実現するため、セガサミーグループに関わりのある自治体や団体へのマスク寄贈を行いました。

本社のある品川区の「しながわ子ども食堂ネットワーク」や地方創生に係る包括的連携協定を締結する宮城県七ヶ浜町、セガサミー野球部の活動拠点である東京都八王子市の社会福祉協議会に計12,500枚のマスクを寄贈しました。



の検温、出社中のマスク着用、手洗い・消毒、3密状態の回避やソーシャルディスタンスを意識した行動の徹底を図っています。このほか出張の原則禁止、来訪・往訪の自粛、社内外イベント実施の制限といった規則を設けています。

また、グループイントラネット「COMPASS+」内に「新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ」ページを開設し、社長メッセージや在宅勤務に関する注意点などの情報を積極的に発信しています。大崎本社では、やむを得ず出勤する社員に1日1枚マスクを配布するなど、引き続き安心して働ける職場環境の整備を進めています。



オンラインミーティングの様子



# マネジメント

## セガサミーグループの理念体系

### グループミッションピラミッド

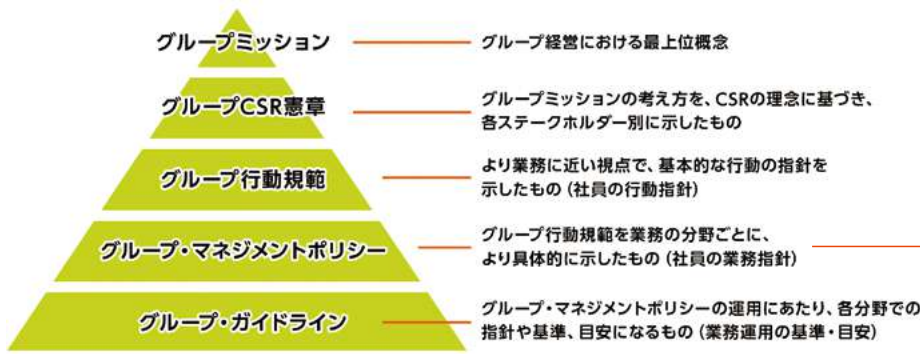
セガサミーグループは、オリジナリティ溢れるエンタテインメントを通じて感動体験をご提供するという考えのもと、国際社会の一員であることを強く意識し、様々なステークホルダーとコミュニケーションを図りながら、良き企業市民として社会からの倫理的・公共的な期待に応え、社会の持続可能な発展に寄与する価値の提供に取り組んでいます。また、事業活動に留まらず、芸術・スポーツをはじめとする文化の発展支援など、グループ全体で様々な社会活動を継続的に実施し、社会をもっと元気にカラフルにすることで、豊かな社会の実現と文化の創造を目指します。

2017年にはグループミッションを策定し、その浸透を図るためグループおよびグループ各社のミッションピラミッドを策定しました。ミッションピラミッドは、DNAであるValue(価値観・DNA)、Mission(存在意義)、Vision(ありたい姿)からなり、最終的には各事業部門や社員個人の目標までリンクすることで、異なる事業・業務環境のもとでもベクトルを合わせ、一体となって持続的な成長を行う道標となるものです。

グループミッション 感動体験を創造し続ける ～社会をもっと元気に、カラフルに。～

「創造は生命(いのち)」、「積極進取」という価値観を共有しつつ、常に革新者として世界中のあらゆる人々に感動体験を提供し続けます。社会をもっと元気に、カラフルにすることで豊かな社会の実現と文化の創造に貢献します。





- ・人財に関する方針
- ・労働安全衛生に関する方針
- ・情報管理に関する方針
- ・ITセキュリティに関する方針
- ・個人情報保護に関する方針
- ・IR・広報に関する方針
- ・CSR・SDGsに関する方針
- ・環境に関する方針
- ・海外贈賄禁止に関する方針

**グループCSR憲章**  
[https://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/csr/gr\\_charter/](https://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/csr/gr_charter/)

**グループ行動規範**  
[https://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/csr/gr\\_csr/](https://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/csr/gr_csr/)

**グループ・マネジメントポリシー**  
[https://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/csr/gr\\_policy/](https://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/csr/gr_policy/)

**グループ・ガイドライン**  
[https://www.segasammy.co.jp/japanese/media/file/pr/commu/csr/20141101\\_supplychain\\_csr.pdf](https://www.segasammy.co.jp/japanese/media/file/pr/commu/csr/20141101_supplychain_csr.pdf)

「危機管理」「ITセキュリティ」「クラウドサービス利用」「SNS利用」「海外贈賄禁止」に関する各ガイドラインを定めています。なお、CSR調達に関してはガイドブックとして開示しています。

## セガサミーグループのCSR

セガサミーグループは、CSR活動を当社グループの持続的価値創造と社会の持続的発展の双方を実現するための重要な活動と捉えています。

「セガサミーグループのCSR・SDGs活動の推進に関する方針」を定め、CSR活動にSDGsを関連づけ、重点取り組みテーマを定めています。また定期的にステークホルダーの意見や要望を確認し、重要課題の確認を行い、グループの活動を内外に発信します。

**セガサミーグループCSR・SDGsに関する方針**  
<https://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/csr/>

## グループCSR・SDGs推進方針について

セガサミーグループはSDGsを踏まえたCSR活動を推進するに当たり、優先して取り組むべき5つの重点課題(マテリアリティ)およびその重点項目を特定しました。特定のプロセスにおいて、米国サステナビリティ会計基準審議会(SASB)のマテリアリティマップなどを参考にしました。

### 5つの重点課題

#### 1. 環境

製造過程の環境負荷低減を重視した製品設計やリサイクル、リユースを通して、より効率性を上げる取り組みのほか、環境保全や消費電力の削減などの取り組みを進めます。

#### 2. 依存症

ゲームに没頭して健康に深刻な障害が出る「ゲーム障害」や、ぱちんこ・パチスロの「のめり込み問題」、統合リポート(IR)事業と関連性の深い「ギャンブル依存症」をはじめとした依存症問題の対応・予防への取り組みを進めます。

#### 3. 人

多様な人財が働きがいを持って活躍できる環境をつくり、創造性豊かな企業風土を形成していくほか、ダイバーシティを当然のこととし、人権の尊重と差別の禁止、弱者保護による不平等の排除を徹底します。

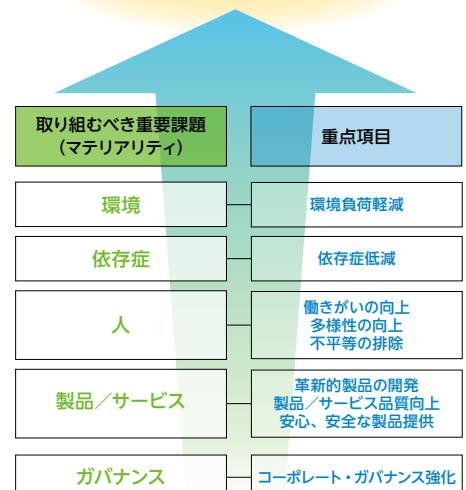
#### 4. 製品/サービス

エンタテインメントを通じて感動体験を創造し、社会をもっと元気に、カラフルにするために、革新的な製品の提供を可能とする開発プロセスの構築、製品・サービスの持続的な品質向上、安心・安全に楽しめる製品・サービスの提供を行います。また、事業を活かした社会課題解決にも積極的に取り組み、継続的な成長・企業価値の最大化につなげていきます。同時に、良き「企業市民」として、グループ全体で、地域社会の皆さまと積極的に対話しながら、多様なエンタテインメントおよびその振興を通じて社会への貢献を進めていきます。

#### 5. ガバナンス

コンプライアンスやリスク管理を含めたコーポレート・ガバナンスを重視し、法令遵守体制、内部統制システムの強化を行い、企業経営の健全性確保、透明性向上、効率性向上を目的としたガバナンス経営を徹底します。また、積極的な啓発活動を通じて社員一人ひとりが社会に対する責任感を自覚し、セガサミーグループらしいCSR・SDGs活動を実践することで、社会から信頼され、長く愛される企業として存在し続けることを目指します。

社会ニーズに応え持続可能な  
社会の実現と企業価値を向上



セガサミーグループは積極的な啓発活動を通じて社員一人ひとりが社会に対する責任を自覚し、総合エンタテインメント企業らしいCSR・SDGs活動を実践することで、社会から信頼され、長く愛される企業として存在し続けることを目指していきます。



セガサミーグループのCSR・SDGs活動の推進に関する方針

<https://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/csr/>

## CSR・SDGs推進体制

セガサミーホールディングスに設置されているグループCSR推進室を2019年4月にCSR・SDGs推進室へ改称し、グループのCSR・SDGs活動を統括・管理・支援しています。さらに、SDGsに対する取り組み強化にあたり、CSR・SDGs推進室においてグループ内のプロジェクトへのマーケティングを支援する機能の拡大を図っています。

2019年5月には、国内グループ会社全役員に対しSDGs研修を実施し、主要事業会社11社でSDGs重点取り組みテーマをベースにした社会課題解決を目指した取り組みを始めています。活動状況については、定期的にホールディングス取締役会に報告を行っています。グループでの活動推進、のため、セガサミーホールディングスのCSR・SDGs推進室長を議長としグループ会社のCSR責任者が参加する「グループCSR事務局会議」を設けています。CSR活動に関する施策の計画・実行・評価・改善（PDCAサイクル）などを行うため、原則として年に1回開催しています。

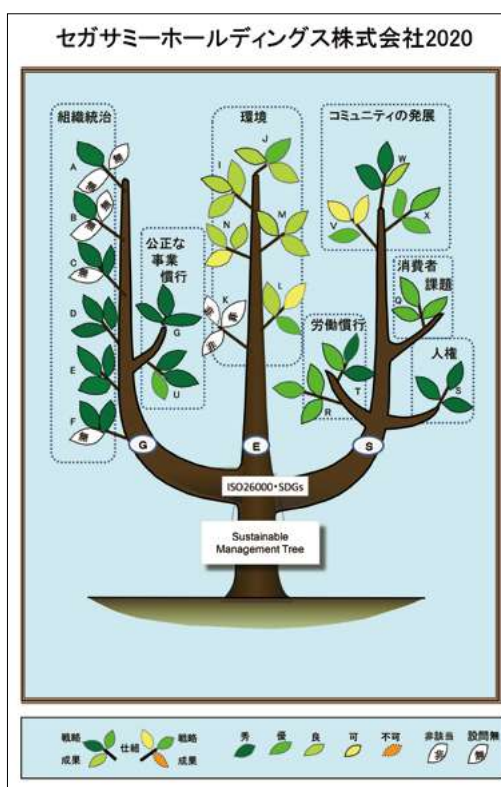
なお、CSR・SDGs活動の状況については、「CSR BOOKLET」をWEB開示しグループ内外に活動状況を報告するとともに、本レポートを社員向けに編集した「CSR COMMUNICATION REPORT」に付属しているアンケート（2019年度回答数1,036件）の回答状況（経営理念、行動規範の浸透度など）をセガサミーホールディングス取締役会にて報告しています。

## ステークホルダーとのかかわり

セガサミーグループの事業活動は、5つのステークホルダー（「お客さま」「お取引先」「株主・投資家」「社員」「社会（環境と社会貢献）」）とのかかわりの中で成り立っています。ステークホルダーとのコミュニケーションを通じて、信頼関係を深めながら、ご意見やニーズを事業活動に反映することに努めています。

## 環境経営学会による経営評価および専門家によるステークホルダーダイアログ、マテリアリティの設定

2016年より、認定特定非営利活動法人環境経営学会 経営診断推進委員会によるサステナブル経営診断を受けています。診断の結果、評価の平均評点獲得率は82.5%と、3年連続で向上しました。ガバナンス分野については97.3%と各項目で高い水準が維持されています。環境分野では、環境負荷が比較的小さい業種のため62.2%とやや低い水準の評価に留まっているものの、初回の診断以来着実な進化をしています。特に地球温暖化の進行による事業影響が重要化する中で金融業界から求められているTCFDへの対応を行っていること。さらに、サプライチェーン、バリューチェーンを含めた事業全体でのCO<sub>2</sub>排出に関わる概要把握（スコープ3レベル）を進めているといった昨年度の指摘を踏まえて強化した取り組みが評価されました。また、社会分野では、宮城県七ヶ浜町と地域連携協定を締結し社員の派遣を行ったことやグループ主要各社でのSDGs推進の進捗から86.7%へと進展しました。現在、コロナ禍の影響を受け、モノづくりを含め社員の働き方が大きく変化してきています。今後については、テレワークやEC販売等新しい働き方や販売の仕方を一層推し進めることを通じて、更なる環境負荷軽減などを推進してまいります。



結果ツリー図



## 国連「グローバル・コンパクト」への参画

セガサミーグループは、2014年4月、「国連グローバル・コンパクト」(以下、UNGC)への支持を表明し、署名しました。UNGCとは「各企業が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組みづくりに参加する自発的な取り組み」です。私たちは、UNGCが掲げる10原則に基づき責任ある経営を推進することによって、持続可能な社会づくりに貢献していきます。また、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン(以下、GCNJ)内に組織されている、サプライチェーン、女性のエンパワーメント原則(WEPs)、SDGs研究分科会などの活動に参加し、他社との情報共有を行うほか、GCNJの活動に貢献し、社会の課題解決に向けて積極的に取り組んでいます。

国連「グローバル・コンパクト」項目と10原則		当社グループ「CSR BOOKLET」	関連ページ
人権	原則1：人権擁護の支持と尊重 原則2：人権侵害への非加担	マネジメント：セガサミーグループの理念体系、セガサミーグループのCSR お取引先とともに：公平・公正な購買のために 社員とともに：人権の尊重	P.13-20 P.30-33 P.34-41
労働	原則3：結社の自由と団体交渉権の承認 原則4：強制労働の排除 原則5：児童労働の実効的な廃止 原則6：雇用と職業の差別撤廃	マネジメント：セガサミーグループの理念体系、セガサミーグループのCSR お取引先とともに：公平・公正な購買のために、CSR調達研修、お取引先とのパートナーシップ 社員とともに：人材の育成と評価、多様性の推進、人権の尊重、働きやすい職場環境の整備	P.13-20 P.30-33 P.34-41
環境	原則7：環境問題の予防的アプローチ 原則8：環境に対する責任のイニシアティブ 原則9：環境にやさしい技術の開発と普及	マネジメント：セガサミーグループの理念体系、セガサミーグループのCSR 社会とともに【環境】：グリーン電力証書システムの導入、製品の環境配慮設計、12年目を迎えた森林の里親活動～「セガの森」～、シーガイア ビーチクリーンinーツ葉	P.13-20 P.44-48
腐敗防止	原則10：強要や贈賄賂を含むあらゆる形態の腐敗防止の取り組み	マネジメント：セガサミーグループの理念体系、セガサミーグループのCSR マネジメント：コンプライアンス お取引先とともに：公平・公正な購買のために	P.13-20 P.17-18 P.32

## CSR推進活動

### ■ 意識の醸成

セガサミーグループでは、社員一人ひとりがグループCSR憲章を理解し、その精神に基づいたグループ行動規範に沿って行動してこそ、当社グループが掲げるグループミッションを実現できると考えています。セガサミーホールディングスCSR・SDGs推進室では、グループすべての社員を対象にCSR活動の重要性や取り組む意義を伝えながら、それぞれの理解度に合わせた各種研修をはじめとした浸透策を企画し、実行しています。

また、「CSR COMMUNICATION REPORT」を全社員に配布し、CSR意識の浸透とグループ一体感の醸成することで社内の意識向上に努めています。



全社員に配布している  
「CSR COMMUNICATION REPORT」

### ■ CSR研修

2013年10月から、グループ会社のマネジメント層並びに一般層向けにCSR研修を実施しています。2019年度はグループ会社13社、761名が受講し、2013年からの総受講者数は4,090名となりました。講義やグループワークを通じて、事業をとりまく社会環境の変化を学び、「社会と企業の共生」や「企業の持続的成長・発展」についての理解と参加者同士のコミュニケーションを深めました。

修了時には、受講者全員が「CSR推進宣言」を提出し、セガサミーグループの一員としての存在意義を再確認する機会を設けています。今後も「社会から期待され、信頼され、尊敬される企業、そして社員が誇れるグループ企業」を社員一人ひとりが意識して行動できるように、研修を継続していきます(CSR研修の内容詳細についてはP.40をご参照ください)。



CSR研修のグループワーク

## コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスについては、当社グループ統合レポートをご参照ください。



統合レポート、コーポレート・ガバナンス

[https://www.segasammy.co.jp/japanese/ir/library/pdf/printing\\_annual/2020/al2020\\_all\\_7.pdf](https://www.segasammy.co.jp/japanese/ir/library/pdf/printing_annual/2020/al2020_all_7.pdf)

## コンプライアンス

### 基本的な考え方

セガサミーグループは、「グループ行動規範」および「グループ・マネジメントポリシー」に基づき、一人ひとりがコンプライアンスを理解し意識した言動を行えるよう、様々な取り組みを行っています。

### コンプライアンス推進体制

#### ■ 推進体制の概要と強化

セガサミーホールディングスコンプライアンス推進室長が議長を務め、年2回開催される「グループコンプライアンス・リスク連絡会議」(セガサミーホールディングス社長、取締役、管理系本部担当執行役員、主要グループ会社のコンプライアンス推進部門管理役員・部長、監査役が出席)のもと、法令・社会規範を遵守した健全な企業経営を展開するための社内体制構築を図っています。

#### ■ 内部監査

セガサミーホールディングス経営監査部では、グループ各社に対しコンプライアンス徹底のために各種テーマ監査に加え、グループ企業の遊技、宿泊並びにゴルフ場などの各施設、提供する食品の安全性などに関して定期的に内部監査を行っており、さらにお客さまの安全を第一に、改善項目に関するモニタリングを実施して改善状況を確認しています。また、監査上の重要事項については年2回セガサミーホールディングス取締役会に報告を実施しています。

#### ■ 主な改善事例

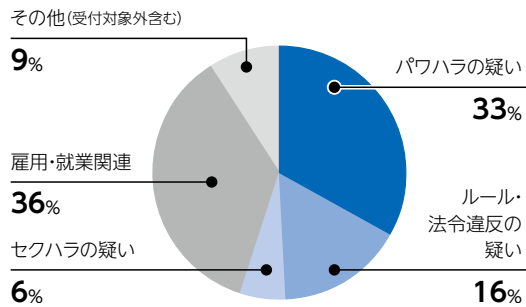
取り組み	進捗・実績
全国のアミューズメント施設74店舗にて、お客さまに怪我や事故などが発生しないように安全点検を実施しています。	2019年度は点検の結果、211件に改善の指摘や是正を依頼しました。 ① 施設設備および備品に係る事項 123件 ② 遊技機などに係る事項 71件 ③ 食の安全に係る事項 17件
統合リゾート(IR)事業を推進する上で必要とされるコンプライアンス徹底、並びに安全管理に係る状況についての監査を実施しています。	重要性の高いテーマの監査を実施し、改善事項は定期的にフォロー監査で確認しています。 ① 働き方改革関連法への対応状況 ② 個人情報の管理状況 ③ 情報セキュリティの対応状況
グループ内のレストランで提供する食への安心・安全を高めるために、提供する食材の産地やメニュー表示の適正性の確認を行っています。	・ 食材産地やメニュー表示に関して検証した結果、正しい産地表示や誤表示防止対策を確認しています。 ・ 料理長を中心に、行政主催の研修会や保健所による講習会への参加などの取り組みを確認しました。

#### ■ 内部通報制度

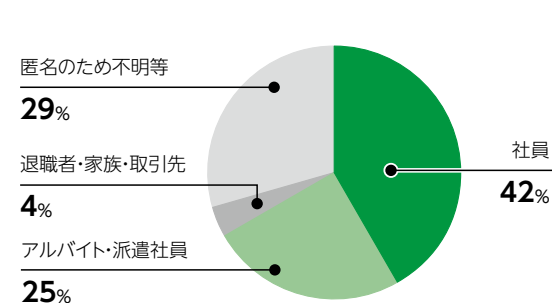
グループ内での自浄機能を作用させ、法令違反や不正行為などを未然に防ぐため、社内外に「セガサミーグループ企業倫理ホットライン(内部通報制度)」を設置しています。セガサミーホールディングスは、2019年12月13日付で、消費者庁所管「内部通報制度認証(自己適合宣言登録制度)」の登録事業者として登録されました。本認証は、企業の内部統制およびコーポレート・ガバナンスの重要な要素である内部通報制度の適切な整備・運用の促進を図るために、2019年2月より消費者庁が導入したものです。事業者が自ら内部通報制度を評価し、「公益通報者保護法を踏まえた内部通報制度の整備・運用に関する民間事業者向けガイドライン」に基づく内部通報制度認証基準に適合している場合、指定登録機関が自己適合宣言登録事業者として登録するものです。2017～2019年度の実績(国内)は、19件、24件、136件でした。なお、2019年度の通報内容の内訳と通報者の属性は以下の通りです。



## ■ 通報内容の内訳 (2019年度)



## ■ 通報者の属性 (2019年度)



## コンプライアンス推進活動

### ■ ルールの徹底と意識強化

コンプライアンスの意識向上と理解醸成を図るため、グループ各社向け階層別啓発活動を実施しています。外部講師を招いた社内セミナーや、定期的に発信するメールマガジン、遭遇しそうな具体例を編集した「コンプライアンスハンドブック」、漫画を使って分かりやすくした関連記事などのイントラネットへの掲載など、グループ全社員を対象に啓発活動に取り組んでいます。

2019年度より、グループ全体のコンプライアンス違反の未然防止と体制強化を目的に、コンプライアンス推進室を設置。グループ23社を対象とした統一したコンプライアンス知識習得を目指したeラーニングを導入しました。またコンプライアンス意識調査(回答率94%)を実施し、グループ内におけるリスクの把握と改善を遂行するべく、重点的な研修実施に取り組んでいます。

### ■ コンプライアンス研修実績(2019年度)

	研修回数(回)	受講人数(名)	対象企業
新任役員	1	13	SSHD、SHD、SAMMY、SE、SGC、SIC、TMS、TOYSなどグループ全社
既任役員	2	134	
合計	3	147	
管理職(東京会場)	28	1,109	SSHD、SHD、SAMMY、SE、SGC、SIC、TMS、TOYSなどグループ23社
管理職(地方会場)	6	68	
合計	34	1,177	

### ■ eラーニング実績(2019年度)

	受講科目数(科目)	受講人数(名)	対象企業
管理職	5	6,549	SSHD、SHD、SAMMY、SE、SGC、SIC、TMS、TOYSなどグループ23社
一般職	4		

※ 略称は、P.2参照

### ■ 反社会的勢力の排除

セガサミーグループは、反社会的勢力による経営への関与の防止のために、グループ行動規範に反社会的勢力との一切の関係を排除する旨を明記するとともに、お取引先との契約書にいわゆる暴排条項を組み込み、お取引先が反社会的勢力に該当するか否かのチェックシステムをグループとして導入しています。反社会的勢力からの接触を受けた際は、警察・弁護士などを含め外部機関と連携して組織的に対処します。

### ■ 腐敗防止

「グループ行動規範」において、(1) 贈賄をはじめ利益供与、便宜供与とみられるあらゆる腐敗を防止すべきこと(2) 寄付を含む社会貢献活動を行う際は、関係法令に基づき定めた社内ルールを遵守して、公正正大に行うべきことを明記しています。2014年7月に「海外贈収賄禁止に関する方針」を策定し、リスク分析の上で関連部門への研修や定期的な確認メールの配信などを実施しています。

## リスク・マネジメント

### 基本的な考え方

セガサミーグループは、「グループ・リスクマネジメントに関する方針」に基づき、事業の推進および企業価値の維持・向上を妨げる重大なリスクに対し、平時より対策を検討し、損失を最小化する体制を構築することで、様々なステークホルダーへの影響を極力小さくするよう最大限の努力を行い、社会から強い信頼を得る企業を目指しています。



## リスク・マネジメントの状況

### ■ 危機管理

セガサミーグループでは、「グループ・リスクマネジメントに関する方針」のもと、「危機管理ガイドライン」を制定し、年1回主要16社のリスク分析を行い、セガサミーホールディングスの取締役会で共有するとともに、潜在するリスクの低減および危機の未然防止に努め、重大な危機が発生した場合の即応体制を整備・維持しています。

2020年に発生した新型コロナウイルス感染症に対して、グループ全体で感染予防と拡大防止に努めました。

### ■ 知的財産の管理

セガサミーグループでは、知的財産は企業競争力を高める重要な要素かつ企業経営を支える経営資源と位置づけ、グループ会社ごとに方針を掲げて取り組んでいます。

エンタテインメントコンテンツ事業では、各部門に知的財産推進委員を置き、プロジェクトの現場責任者、担当者、新入社員に向けた研修・説明会などを通じて、継続的に知財意識啓発を行っています。またグループイントラネットを通じて知財情報の共有を推進することで、第三者の知的財産権侵害を未然に防ぐとともに自社の知的財産権の適切な管理を実施しています。さらに知的財産権部が各部門と連携して事業戦略に即した知財戦略を策定・実行することにより、グループ全体で知的財産権を積極的かつ戦略的に取得・活用していく取り組みを進めています。また、ブランドの維持・向上のために模倣品対策なども実施しています。

遊技機事業では、研究開発の段階ごとに技術調査などを実施し、徹底したリスクアセスメントを行っています。また管理職、新入社員、開発者などの階層に応じた知財研修制度や、社内イントラネットによる定期的な知財情報の発信など、多様な啓発環境を設けて知財意識の向上を図っています。

さらに技術分野ごとに戦略的な知財ポートフォリオを構築し、効果的な知財活用を推進しています。

### ■ 情報セキュリティ

セガサミーグループでは、お客さまの情報はじめ、経営情報や営業情報などすべての情報を重要な財産と捉え、「グループ情報管理に関する方針」「グループITセキュリティに関する方針」「グループ個人情報保護に関する方針」「情報管理規程」などを定めています。また、グループ各社の担当者による情報共有の場を設け、グループ全体での取り組みを一層強化するための施策を話し合うなど、情報管理体制の強化に向けた取り組みを進めています。

個人情報については、「グループ個人情報保護に関する方針」に基づき各社で「プライバシーポリシー」を定め、お客さまの個人情報の適切な管理や運用に始まり、不正アクセスや紛失、改ざんおよび漏洩などを防止する対策を講じています。なおセガのグループのサービスが一つのIDで簡単・便利に楽しめる「SEGA ID」に関する個人情報は、プライバシーマーク(Pマーク)を取得しているセガホールディングスの管理下にあります。

## テーマ別課題と活動実績およびSDGsとの関連性

グループが掲げるCSR取り組みテーマに対し、課題を設定し、活動の進捗・実績の管理を行っています。2017年5月に策定した中期経営戦略「Road to 2020」にグループ全体で邁進するとともに、グループシナジーの一層の拡大と効率化を目指し、2018年8月のオフィス統合および働き方改革の推進を行ってきました。これにより、社員の多様な働き方が可能となり、環境面も考慮した効率的なオフィスを整えることで、グループの中長期的成長やステークホルダーの皆さまの期待に添えていく体制を整えました。

また、2019年度より、SDGsへの取り組みをグループ全体で強化し、グループ主要各社で計画を策定しPDCAサイクルづくりを進めています。

■ セガサミーグループが取り組むべき重要課題と重点項目および活動実績

※略称は、P.2参照

取り組むべき重要課題と重点項目	取り組み	2019年の進捗・実績	主な掲載ページ	関連するSDGs	
【環境】 環境負荷軽減	事業活動から発生する環境負荷の軽減	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境配慮型製品開発・販売の推進</li> <li>3R(特にリサイクル)の推進</li> <li>環境保全活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>低消費電力製品の開発・提供点数の増加【E】</li> <li>エコぱちこの開発、製品化への展開【遊】</li> <li>下取機リサイクル93%達成【遊】</li> <li>廃棄物有価リサイクル(川越工場勤務者による分別活動)の実施【遊】</li> <li>アミューズメント(AM)機器の手分解による100%リサイクルを実施【SLS】</li> <li>年次サプライヤーミーティングでの環境規制などの情報を配信【E】</li> </ul>	P.33 P.44-48	3 9 12 13
	地球環境資源への配慮	環境施策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーン電力証書の購入(実績:100万kWh/年)【SHD】</li> <li>横浜市風力発電事業「Y(ヨコハマ)-グリーンパートナー」への協賛(グリーン電力証書2019年実績:168,184kWh)【SHD】</li> <li>主要グループ会社15社の環境負荷にかかわる数値の把握体制の整備【SSHD】</li> <li>森林里親契約「セガの森」整備によるCO<sub>2</sub>吸収量が長野県から評価【SHD】</li> <li>シーガイア敷地内の黒松(250m)の管理・保護・育成【PSR】</li> </ul>	P.44-48	7 11 13 14 15
【依存症】 依存症低減	依存症対策など	<ul style="list-style-type: none"> <li>依存症共同研究など</li> <li>業界団体標準などに準拠した安全基準の遵守</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>京都大学との共同研究</li> <li>業界団体の基準などに準拠した安全基準の設定【E、遊、TOYS】</li> <li>業界団体を通じた適度な遊技環境の推進【遊、SE】</li> </ul>	P.21-22 P.27-29	12
	その他安全対策など	不正防止対策	不正防止【遊】		
【人】 働きがいの向上 多様性の向上 不平等の排除	働き方改革・改善	働き方改革・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>働き方改革推進(長時間残業対策、有給休暇取得率アップ、フレックス、テレワーク導入や推進など)【グループ】</li> <li>SEGASAMMY Collegeの開講(のべ4,398名受講)【グループ】</li> </ul>	P.34-40 統合レポート参照	5 8 10
	多様性向上、不平等の排除など	多様性向上、不平等の排除など	<ul style="list-style-type: none"> <li>LGBT支援制度導入、東京レインボープライドに協賛【グループ】</li> <li>任意団体「work with Pride」による「Pride指標」でゴールド認定【グループ】</li> <li>副業制度導入および各種働き方改革・改善活動【グループ】</li> </ul>		
【製品/サービス】 革新的製品の開発 製品/サービス品質向上 安心、安全な製品提供	革新的製品の提供	事業を活かした社会課題の解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ役員向けSDGs研修実施および11事業会社でSDGs推進計画策定【グループ】</li> <li>ゲーミフィケーション【セガXD】</li> <li>共遊玩具の開発・製造・販売【TOYS】</li> <li>ドライビングシミュレーターの開発・製造・販売【SLS】</li> <li>豊かなシニアライフのための趣味・交流機会づくり(シュミカツ!)【SGC】</li> </ul>	P.21-22 P.51	3 4 8
		グループコンテンツを活かしたイベントによる課題解決支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者・健常者がともに楽しめるeスポーツの展開【SGC】</li> <li>プログラミング授業の体験【SE、TOYS】</li> <li>NPOとの協働による玩具寄贈【SSHD、TOYS】</li> <li>出張ゲーム教室の実施【SIC】</li> </ul>		
	製品/サービス品質向上 安心、安全な製品	製品やサービスの安心・安全の提供、並びに適正な情報開示	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象各国の法令、業界基準等に則し、それを上回る自主基準の設置、製品表示などによる情報開示を含む品質保証【E、遊、TOYS】</li> <li>青少年保護対策【SE】</li> <li>正確で適切な製品表示【E、遊、TOYS】</li> </ul>	P.26-28	12
		サポート体制のさらなる充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客さまサポート体制の充実【E、遊、TOYS】</li> </ul>		
【ガバナンス】 コーポレート・ガバナンス強化	ガバナンス体制強化	ガバナンス体制強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>新入社員を研修の一環として被災地へ派遣(12社、202名)【グループ】</li> <li>コンテンツを活かした被災地復興支援イベントの開催(5回)【グループ】</li> <li>宮城県七ヶ浜町と地方創生に係る包括的連携協定締結【SSHD】</li> </ul>	P.7-8	11
	地域コミュニティなどへの貢献	その他グループ全体での社会貢献および文化などへの発展支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>Dance Base Yokohama設立、「TOKYO JAZZ」など芸術活動への協賛【SSHD】</li> <li>「絵本を届ける運動」への参加(353冊、発展途上国のエンタテインメント環境整備)【グループ】</li> <li>玩具寄贈など【SSHD、TOYS】</li> </ul>	P.49-54	1 2 3 4 10
	地域のスポーツイベント参画や支援など	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ジュニアスポーツフェスティバル」並びに野球教室の開催【SSHD】</li> <li>マラソン大会協賛【遊】、街並み清掃活動【SHD】</li> <li>子ども食堂への支援【SSHD、PSR】</li> </ul>			
【ガバナンス】 コーポレート・ガバナンス強化	コンプライアンス強化	コンプライアンス強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>コーポレートガバナンスコード対応、独立諮問委員会・経営戦略委員会運営【SSHD】</li> <li>グループコンプライアンス・リスク連絡会議運営、SSHD役員研修などの実施【グループ】</li> <li>グループミッション、行動規範の浸透状況を取締役に報告【SSHD】</li> </ul>	P.13-18	16
	CSR・SDGs経営の推進と啓発	経営者からの継続的なメッセージ発信によるグループミッションの浸透	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ役員コンプライアンス研修(3回、147名)、管理職向けコンプライアンス研修の実施(34回、1,177名)【グループ】</li> <li>企業倫理ホットラインの設置による使いやすい通報制度の構築【グループ】</li> <li>2019年度グループ23社を対象とした統一コンプライアンス研修の実施(eラーニング導入済み)</li> <li>グループ社員向けCSR研修の実施(21回、14社、761名)【SSHD】</li> <li>グループミッションをグループイントラネットに掲示、社員手帳冊子にも掲載し社員啓発を促進【グループ】</li> <li>CSRコミュニケーションレポートを発行し、グループ正社員およびアルバイトらに11,000冊を配布【グループ】</li> <li>経営トップから、社会情勢や事業発表とともに、現実に即した形で社員に分かりやすく経営理念の意味と実践についてメッセージを配信(年3回)【グループ】</li> <li>「国連グローバル・コンパクト」への参画【SSHD】</li> </ul>	P.13-16 P.40	—
	CSR情報の把握と共有	CSR情報の把握と共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ会社CSR担当者向け情報媒体(新聞、雑誌など)を通じたCSR情報の収集とグループ各社への提供(随時)【SSHD】</li> </ul>		



セガサミーホールディングス株式会社  
代表取締役社長グループCOO

里見 治紀

感動体験を提供によって  
総合エンタテインメントの  
使命を全うし  
豊かな社会を実現する

セガサミーグループのCSR活動推進に際し、根底にあるのは本文である事業活動を通じた「感動体験」の提供です。SDGsありきではなく、本業で社会要請に応えることが社会とセガサミーグループの持続的発展につながり、ひいてはSDGs達成に貢献できると考えます。

社会から必要とされる企業グループであり続けるため、これまで推進してきた4つのCSR・SDGs重点取り組みテーマを見直しました。そのうえで2020年10月、セガサミーグループとして取り組むべき「環境」「依存症」「人」「製品／サービス」「ガバナンス」という5つの重要課題(マテリアリティ)を特定しました。今後は重要課題に注力し、SDGs達成に貢献していきます。

環境面では筐体の製造過程における環境負荷低減や、プラスチック削減などによる環境保全に努めます。深刻化する依存症問題に関しては2017年に開始した京都大学との共同研究をより一層深化させ、予防に取り組みます。

感動体験の提供に不可欠なものはグループ計約8,800名にのぼる「人」、つまりは社員です。現在、働き方改革なども含めて多様性が当たり前の企業風土の形成に注力しています。様々なバックグラウンドを持った社員の英知の積み重ねで製

# セガサミーグループのSDGsへの貢献

## 製品 / サービス

### 具体的な取り組み

- 安心・安全に楽しめる高品質な製品・サービスの提供
- 開発プロセスの改善
- エンタテインメントコンテンツを活用した超少子高齢化社会への対応

### CASE 1

#### ドライビングシミュレーターによる運転寿命の延伸

昨今増加傾向にある高齢者ドライバーの交通事故の削減は社会的に深刻な課題となっています。セガ・ロジスティクスサービスは、損害保険ジャパン日本興亜と共同で、運転に関する認知機能や運転技能を診断・トレーニングできる機能を備えた「ドライビングシミュレーター」を開発しました。交通事故、高齢者の暴走事故の支援についてシミュレーターを使った認知機能の検査、運転技能の維持・改善を模索していた損保ジャパン日本興亜と当社グループの技術・企業理念が一致し、実現しました。



包括的連携協定を結ぶ、宮城県七ヶ浜町で導入しており、高齢者の事故抑制と運転寿命延伸による豊かなシニアライフの実現、安心・安全な車社会の実現に寄与します。

### CASE 2

#### プログラミング教育の支援

あらゆるモノがインターネットにつながり、管理できるようになった社会において子どもたちが将来職業を選択する際、プログラミング知識の有無や多寡は大きく影響します。2020年度から小学校でのプログラミング授業が必須となりましたが、指導者確保に課題も残っています。

セガサミーグループの得意分野であるゲーミフィケーション(ゲームの要素や特長を他分野に応用すること)の知見を活かし、アプリ制作などを手掛けるアリアルと共同開発したアクションパズルゲーム「ぶよぶよ」を使ったプログラミング学習コンテンツで教育現場の支援を実施。教育現場の課題解決に加え、将来を担う子どもたちのレベルに応じたプログラミング学習を実施します。





品・サービスの品質向上に努め、安心・安全に楽しみながら感動体験を味わえるエンタテインメントコンテンツを生み出し続けていきます。

こうした挑戦に企業経営の基盤となるガバナンスの強化は不可欠と考え、業務執行の監督や執行機能のさらなる強化を視野に入れた制度設計を進めています。経営の透明性を高め、ステークホルダーに責任ある説明を行うことが外部の適正な声の

吸い上げにつながり、より強固な経営基盤の確立につながると確信しています。

事業活動を通じて社会要請に答えていくことが理想的なサステナブルであり、セガサミーグループとして理想の実現に向けて行動に移す段階に入ったと考えます。重要課題に関する取り組みを強化することで「感動体験の提供」という使命を全うし、あらゆる事業活動でSDGs達成に貢献していきます。

### ● セガサミーにおけるこれまでの取り組み

2019年2月	SDGs重点取り組みテーマ特定
2019年4月	SDGs推進室の設定
2019年5月	役員を対象としたSDGs研修
2019年7月	新たな行動計画の策定および次期計画への各事業会社取り組み検討開始
2020年10月	取り組むべき5つの重要課題(マテリアリティ)を特定



事業活動に邁進することで、社会から要請される課題に取り組んだ結果として、新たなSDGs達成貢献につながる——。セガサミーグループは、このサイクルを継続することこそがサステナビリティの本質と考えます。エンタテインメントを通じて「社会をもっと元気に、カラフルに。」するというグループミッションの遂行に心血を注ぎ、社会の要求に応じていきます。

### 人

#### 具体的な取り組み

- 事業強化につながる働き方改革の追求
- ダイバーシティ実現
- 多様な人材が活躍できる環境づくりによる、創造性に富んだ企業風土の確立

#### CASE LGBTの認知拡大を支援

セガサミーグループは同性カップルに対する扶養手当制度を設けているほか、eラーニングで国内グループ社員を対象にLGBTについての研修を行っています。

このほか、2019年度よりセクシャル・マイノリティの認知拡大に努める「東京レインボープライド」の活動を支援しています。

### 依存症

#### 具体的な取り組み

- 業界一丸となった啓発活動の実践による社会的信頼性の構築
- ギャンブル依存症予防のための研究深化
- ゲーム依存症・のめり込み問題への対応

#### CASE 京都大学との共同研究

京都大学 こころの未来研究センターの村井俊哉教授とともに、ギャンブル依存症の予防研究を実施し、独自の対策を講じています。

### 環境

#### 具体的な取り組み

- バリューチェーンを網羅したCO<sub>2</sub>排出量の削減と見える化
- 遊技機のリユースによる筐体の廃棄ロス削減
- 自然環境保全および省エネルギー

#### CASE 環境にやさしい製品開発

セガ ヨーロッパでは一部ゲームのプラスチック製パッケージを廃止しました。このほか、遊技機の筐体のリサイクルなどにも引き続き注力し、廃棄物の削減に尽力しています。



### ガバナンス

#### 具体的な取り組み

- 透明性のある経営
- 役員報酬の見直し

# お客さまとともに



## グループCSR憲章

私たちは、いつの時代においても、  
お客さまとともに歩みながら、感動体験を創造し続けます。

## グループ行動規範

### 「安心・安全・高品質」「顧客の満足」「製品安全性の確保」

- (1) 常にお客さまの期待に応えられる、安心・安全かつ高品質な商品・サービスの提供に努めます。
- (2) 常にお客さまの声に耳を傾け、満足頂ける商品・サービスの提供に努めます。
- (3) 常にお客さまの目線に立ち、適正価格で、かつ迅速な商品・サービスの提供に努めます。
- (4) 常に市場に目を配り、時代の変化に敏感であり続け、技術向上・アイデア創出に努めます。
- (5) 自社の責任で製品設計を行う場合、製品が各国の法令等で定める安全基準を満たすよう努めます。

### 「適正な取引関係」「情報開示」「クレーム・通報」

- (6) お客さまとは常に適正な取引関係を保ちます。適正な利潤を損ねるような不当廉価販売、正常な商行為と認められないような行為は一切行いません。
- (7) セガサミーグループの企業活動・商品・サービスについて、お客さまのより一層の理解に役立つ情報を、積極的に開示します。
- (8) クレーム・トラブル・事故等については、内容を精査し、適切な対応を行います。



(株)セガ・ロジスティクスサービス  
菊地 隆幸 (Kikuchi, Takayuki)



## レトロ機再生にかける想い

2017年2月にセガ・インタラクティブより「かつてのセガ時代のヒット作(AM機器)に関し、リファビッシュして公開(展示)したい」と協力要請がありました。「プロジェクトを立ち上げ横断的な協力体制で行う」とのことからAM中古機器のメンテナンスを行う弊社にお声がけをいただきました。

所在地の千葉県・矢口事業所は、1991年から物流倉庫に併設された大型AM機器の生産工場として、幾多の新製品製造に携わってきました。そのため補修業務用の設備や経験のある人材が集まっています。

錆取りから塗装や欠落部の再生など、たいがいの修繕は行えるものの、部品が無い場合は別の機械から移植したり、メンバーの方が当時の情報を方々からかき集め、業者を探して新たに部品をつくっていただくなど、壮大なプロジェクトになっています。

再生されたレトロ機のお披露目イベントは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言を受けて中止されるなど当面は先になりそうですが、若い方はセガの歴史を感じていただくと同時に、思い出のある方には当時を思い浮かべてもらえるよう、多くの機器を送り出せればと思います。





## お客様の特別な思い出づくりのために

従来のアミューズメント施設に加えて、特殊業態(飲食店のYogorino(ヨゴリーノ)・物販店のsepurish(セプリッシュ))の合計3店舗を統括しています。特殊業態では、女子中高生向け雑誌「Seventeen」のイベント時の新メニュー提供や、「制服でいちばんかわいく撮れる場所」というコンセプトのもと、お客様の特別な思い出づくりを社員全員でお手伝いしています。



ほかでは味わえない特別な時間を、一人でも多くのお客様に体験していただけるよう、特殊業態で活躍できる女性社員を増やしていきたいと考えています。また、今後の人口減少に伴う女性の働き手・ニーズの増加に対しても、私自身がロールモデルとなることで、女性社員に「女性でも店長になれるんだ!」「私もこの会社で働きたい!」と思ってもらえるように日々取り組んでいます。

ほかでは味わえない特別な時間を、一人でも多くのお客様に体験していただけるよう、特殊業態で活躍できる女性社員を増やしていきたいと考えています。また、今後の人口減少に伴う女性の働き手・ニーズの増加に対しても、私自身がロールモデルとなることで、女性社員に「女性でも店長になれるんだ!」「私もこの会社で働きたい!」と思ってもらえるように日々取り組んでいます。



(株)セガ エンタテインメント  
大型施設営業部  
仲田 華奈子  
(Nakada, Kanako)



SEGA SAMMY  
GOLF ENTERTAINMENT

セガサミーゴルフ  
エンタテインメント(株)  
運営部

澤田 美月  
(Sawada, Mitsuki)

## ゴルフ場の顔としてより良い一日を お客様に過ごしていただくために

フロントスタッフはゴルフ場の顔として、朝のチェックイン業務、精算、成績表出しの準備、帰りの精算業務が主な業務となっています。お客様が気持ちよくゴルフを楽しんでいただけるように、準備することを常に心がけています。

入社2年目のため、まだまだ分からないことがたくさんあり、日々勉強の毎日ですが、お客様から「来てよかった。コースを選んでよかった」「また来たい」と思ってもらえるような接客対応ができるよう、フロントスタッフ、他セクションとのコミュニケーションを密に取り合い、チーム一丸となって頑張っていきたいと思えます。



## 作品と同じ世界感を3次元でお届け

ミュージックビジネスチームは、ライブ・コンサート・舞台などのライセンス業務を行っています。アトラスのゲームを愛してくださっているファンの期待を裏切らないためにも、作品の世界観をそのまま再現することを目標としています。「ペルソナ5」の舞台化作品「PERSONA5 the Stage」では、開発スタッフと舞台スタッフが直接話のできる場を多く設け、衣装は生地から、ウィッグやメイクだけでなくキャラクターの仕草まで細かく監修し、舞台用音楽もアトラスサウンドクリエイターの喜多條敦志さんに作曲していただきました。

個人的にいずれは海外公演も行い、世界中のファンにゲームの世界をお届けしたいと思っています。



ATLUS

(株)アトラス  
セールス&  
ミュージックビジネス部

原田 礼乃  
(Harada, Ayano)

## セガとつながるステークホルダーの皆さまへ 感謝を込めて～セガ設立60周年施策～

2020年6月3日、セガは設立60周年を迎えました。4月からの1年間は「GO SEGA」をキーメッセージに掲げ、お客さまをはじめとする、すべてのステークホルダーがセガグループとのつながりを感じることができる施策を展開しています。

現在お客さまとの主な接点となっている特設WEBサイトでは、世界中からお寄せいただいた5,800件以上のお祝いメッセージを掲載しています。また、本プロジェクトのアンバサダー「せが四郎」のPR動画は、700万回再生となるなど、往年のファンからライトユーザーまで、多くの方にセガの魅力を感じていただけていると実感しています。



「GO SEGA」をあしらったグッズ制作や冊子掲載も  
行っています

残念ながら新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を受け、実施を見合わせたイベントもありますが、これまで数々の困難を乗り越えてきたセガグループのDNAや「GO SEGA」に込めた私たちの熱い思い、未来へ強く前進していく姿をお客さまにお伝えできるよう、日々発信を続けていきます。



SEGA®

(株)セガ  
セガ設立60周年プロジェクト 事務局

左から(3名)

八代 隆行  
(Yashiro, Takayuki)

小池 麻由  
(Koike, Mayu)

亀卦川 滋  
(Kikegawa, Shigeru)

## 遊技機の“EC販売”を推進します!?



サミー(株)  
営業本部 EC推進部

村野 直人 (Murano, Naoto)

Sammy

前列左から(3名)

井上 謙治 (Inoue, Kenji)

嶋田 崇 (Shimada, Takashi)

鳴島 茂雄 (Narushima, Shigeo)

後列左から(5名)

村野 直人 (Murano, Naoto)

坂元 秀樹 (Sakamoto, Hideki)

長谷川 雅昭  
(Hasegawa, Masaaki)

松岡 亮 (Matsuoka, Ryo)

森永 太志 (Morinaga, Taishi)

今やどこでもネット環境につながり、車でさえスマホで簡単に購入できる時代になりました。一方で、遊技機業界では、対面販売での機械購入や電話・FAXでの部品注文がいわば当たり前です。そのような中でサミーは、いち早くアフター部品のネット注文サイトを展開してきましたが、2020年は、いよいよ遊技機製品のEC注文にも対応していきます。

我々のミッションは、このEC(eコマース)を推進することにほかありませんが、単純に販売やサービスのすべてをネット上で完結させることが正解ではないと考えています。

「実機を試打してネットで購入」「ネットで商品を確認してショールームで商談」など、お客さまと接するスタイルはお客さまの数だけあります。現在の商慣習のみにとらわれず、かつ、既存リソースやナレッジを無駄にしない。対面販売とECの“いいとこどり”によって、今まで以上にパーソナライズ化した商品やサービスをお届けすることが使命と考えています。

また、今後はグループ会社の力を結集して遊技機販売のみにとらわれることなくWEBというメディアを活かして様々なサービスを展開することでお客さまのビジネスの成功を支援していきたいと思っています。





## お客さま満足の追求

### お客さまニーズの把握と反映

#### ■ お客さまサポート体制

**E** お客さまの声を製品・サービスの品質向上につなげるため、ユーザーサポート窓口を運用する一方で、様々なお客さま情報を社内各部署に届ける専門の組織（CRM推進部）を設けています。

##### ① お客さま満足の追求

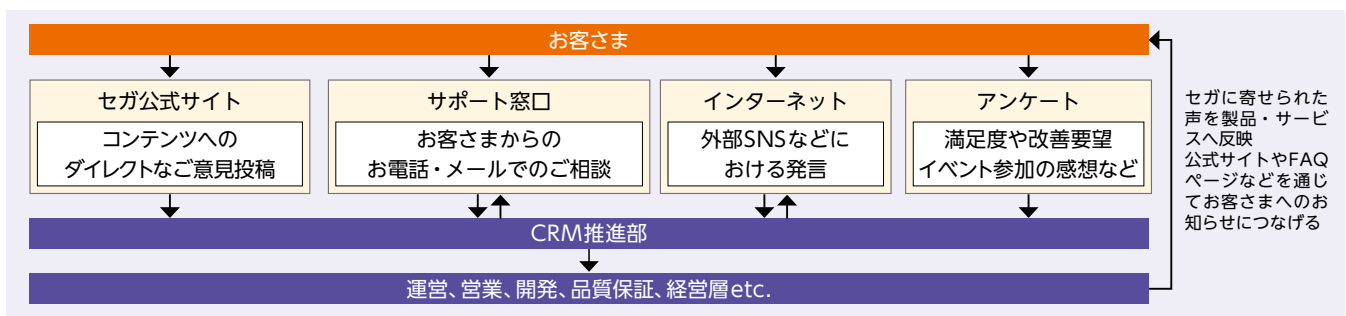
ユーザーサポート窓口の運用を通じて個々のお問い合わせに迅速・的確にお応えする一方で、ツールを活用してアンケート・WEBサイト・外部SNSなどからお客さまの声を効率的に収集し、関連各所へ市場の動きを報告しています。開発など事業側では製品・サービスの利用状況と組み合わせ、徹底的に分析することで、スピーディな改善や進化、新企画の創出に活かす体制づくりが進んでいます。

##### ② 安全かつ合理的な個人情報の取り扱い

グループ横断でユーザー認証やオンライン決済を可能とする会員システム「SEGA ID」のインフラを提供するとともに、会員IDをキーにしてゲームの利用情報などと結合・蓄積できる仕組みを構築しています。また、2017年6月にはプライバシーマークを取得し、お預かりする個人情報がより適切に管理・運用される環境を設けつつ、プライバシーマークの社外掲出を通じて社会的な信頼の獲得にも努めています。

同部署では、これまでITツールを使い、ユーザーデータの調査を行っていましたが、お客さまに「もっと深く・ずっと遊んでいただくための関係構築」をスローガンに、一部開発部署からゲームサーバーログの提供を受け、お客さまの利用背景とお問い合わせ内容を掛け合わせての迅速な問題解決と、市場報告強化による顧客情報活用の社内促進に取り組んでいます。

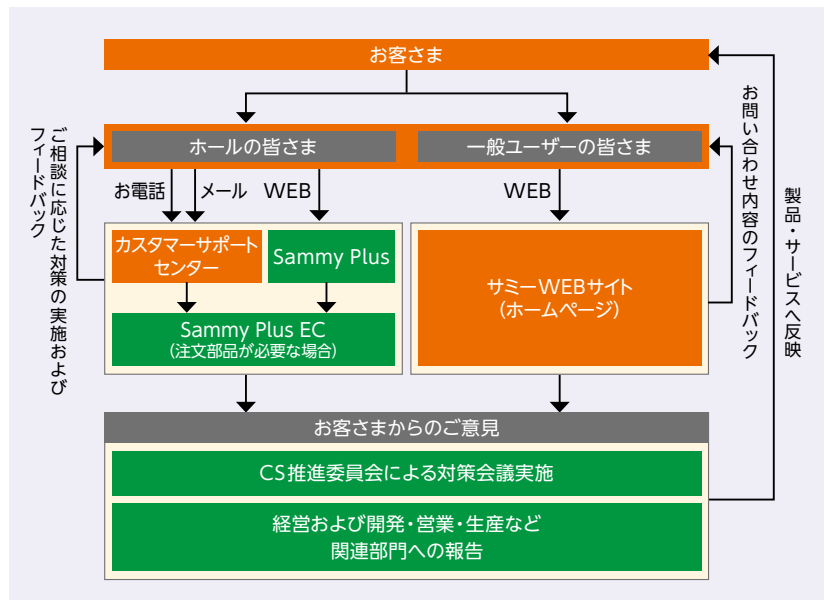
#### ■ お客さまの声にお応えする仕組み・体制(エンタテインメントコンテンツ事業)



## 遊

2017年度には、コールセンターとパーツセンターを統合し、カスタマーサポートセンターを設立しました。電話での機械故障やトラブルシューティングに関するお問い合わせ受け付けからアフター部品の出荷、故障のお問い合わせをいただいたお客さまへのフォローコール、故障部品の回収までを一元的に実施しています。さらに2020年からは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によってサポートセンターの営業自粛を余儀なくされたことを受けて、メールでの問い合わせも開始し、今まで以上にスピーディーな対応を実現しました。さらに、故障部品を実機に装着する研修などを通じて、故障箇所をより的確に診断するスキルの向上を目指しています。また、以下の利便性向上施策を推進することで、お客さまがより利用しやすい環境の整備を進めています。

#### ■ お客さまの声にお応えする仕組み・体制(遊技機事業)



- ① 電話のみでの説明が難しい部品の「搭載箇所」や「交換方法」を、WEBサイト「Sammy Plus」を併用して分かりやすく説明するマルチチャンネル案内の実施
- ② お客さまのご都合に合わせた部品注文および製品購入が可能となるECサイト「Sammy Plus EC」の展開

### ③ 競合メーカーのコールセンターとの電話番号統一など

サポートセンターには2019年度だけで約16,000件のお問い合わせがありました。それらをカスタマーサービス部で集計・分析し、タイムリーに関連部門へ共有することで、故障抑制や遊技機の操作性向上など、開発部門や生産部門のものづくりに活かされています。

## 製品・サービスの安全と品質保証

### ■ 品質保証体制

**E** セガ・インタラクティブでは、営業、開発などのラインから独立した立場の品質保証部が、品質保証規程に基づいて製品やサービスの安全性と品質を一括して管理することで、体制の強化を図っています。特に製品の安全性については、自主基準並びに業界団体 (JAIA<sup>\*1</sup>) のガイドラインに準拠し、安全管理を徹底しています。また、開発や生産、営業、品質管理などの各部門の関係者が集まり、製品仕様・設計仕様・量産仕様・量産判定の4つの観点で製品を評価するデザインレビューを実施しています。

このほか、様々な安全管理手法を用いて製品のリスクを評価するPL<sup>\*2</sup>診断も行っており、さらに出荷判定会議で出荷の最終的な判断を議論するなど、厳しい基準を満たした製品のみを市場にリリースしています。

\*1 JAIA：一般社団法人 日本アミューズメント産業協会

\*2 PL：Product Liability (製造物責任)

### ■ AM機器の品質保証全体フロー概略



\* DR：デザインレビュー (設計審査)

### ■ お客さまの声を活かす仕組み (アミューズメント機器)



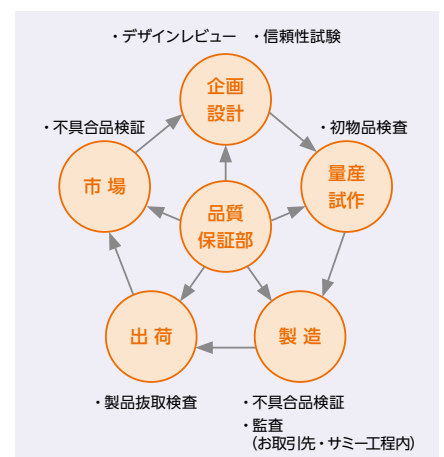
**遊** サミーでは積極的な創意工夫と効果的に改善を行う品質保証活動により、安全で良質な製品やサービスを提供しています。また、人体の安全にかかわる「重要不具合」ゼロという目標を設定し、実現のための施策として以下の活動を行っています。

- ① 品質マニュアルの作成や品質記録の管理
- ② お取引先における4M<sup>\*</sup>管理チェックや監査・指導
- ③ 生産時における工程監査や高温環境下での製品打込み検査
- ④ 可動役物の検査仕様の適正化と寿命試験による評価検証
- ⑤ 開発・営業・生産部門との品質に関する連携

これらの活動により、「重要不具合」ゼロの目標を達成しました。

\* 4M：Man, Machine, Material, Method

### ■ 品質保証活動 (遊技機事業)





## 健全に楽しんでいただくための取り組み

### 製品・サービスへの表示とラベリング

**E** セガゲームスでは、家庭用ゲームソフトの製品パッケージや取扱説明書などに関して、お客さまに安心して製品やサービスをご利用いただけるよう、説明法規制や業界団体が定めるガイドライン・社内規程に準じて、分かりやすく適切に表示することを徹底しています。また、各種製品における利用対象範囲の明確化や倫理問題にも積極的に取り組んでおり、各国の倫理審査結果に従った表示を行っています。日本においては、CERO<sup>\*</sup>に基づく対象年齢表示に加え、独自の自主基準も表示しています。またCEROの審査を通じて得たノウハウを蓄積し、事例をもとにした9カテゴリー、26項目のガイドラインを策定しているほか、メールマガジンを通じて国内外の倫理的な表現問題に関する最新事例を随時発信することで、社員の意識向上を図っています。

※ CERO：特定非営利活動法人 コンピュータエンターテインメントレーティング機構



### 適正なコンテンツ利用のための整備

**E 遊** エンタテインメントコンテンツ事業のセガ並びに遊技機事業のサミーネットワークスが提供するスマートデバイス向けコンテンツでは、主に、未成年者の過度なゲーム利用や課金の問題に配慮し、国内向けのほぼすべてのタイトルで年齢認証による月間の課金上限を設けています。また、有料で販売しているポイントなどを使用して遊ぶ「ガチャ」については、入手できるアイテムのレアリティごとの、もしくはアイテムごとの入手確率を明記することを社内ガイドラインで定めるなど、曖昧な表現による過度な期待や、それによる行き過ぎた課金にならないように努めています。いずれも業界団体のガイドラインに準じたもので、今後も、利用者の皆さまが安心して楽しめる健全なゲーム環境づくりに努めていきます。

### 不正防止対策

**遊** 遊技機の射幸性の抑制と不正改造の防止を主な柱とした「風適法施行規則等の改正」(2004年7月施行)を受けて、遊技機事業では、不正な方法で利益を得る、いわゆるゴト行為を未然に防ぐために遊技機不正対策グループを設置し、継続的に市場情報を収集し不正に強い遊技機づくりに取り組んでいます。複雑化する不正改造に対しては、遊技機の流過程を把握することで、不正に改造された遊技機そのものを市場から根絶していく取り組みを進めています。

また、当社または当社グループ会社を騙った「サクラ・打ち子」などの不審な勧誘や一部市場に流布している根拠の無い不当な攻略情報に対し、サミーのWEBサイトや小冊子などで注意を促すなどの対策を図っています。



### 倫理・社会的な配慮

**E 遊** セガ・インタラクティブでは、JAIAの制定する「健全化を阻害する機械基準」の運用規程を遵守し、製品化前の社内検証において、過度に残酷な表現やお客さまを不快にさせるような表現が無いか、チェックしています。サミーでは社内の監査機関である倫理委員会を設置し、一定の倫理基準や社会ルールなどを満たした遊技機を開発しています。また、独自のガイドラインを策定し、犯罪行為を誘発、または著しく射幸心をあおる恐れのある内容などが演出に含まれることのないように管理しています。のめり込み防止(射幸性に関する研究協力含む)に関する取り組みは「統合レポート2020」をご参照ください。

## 依存症対策

**E** 世界保健機関 (WHO) 年次総会 (2019年5月) において、オンラインゲームやテレビゲームの過度なプレイによって、「ゲーム依存症」が新たに疾患として認定されました。

エンタテインメントコンテンツ事業部門では、射幸性が高く高額課金につながるような「ガチャ」に関して、未成年の過度なゲーム利用や課金の問題に配慮し、一部タイトルで年齢認証による月間の課金上限を設けるほか、社内ガイドラインを定め、曖昧な表現による過度な期待や、それによる行き過ぎた課金を防ぐように努めています。

一般社団法人 コンピュータエンターテインメント協会 (CESA)、一般社団法人 日本オンラインゲーム協会 (JOGA)、一般社団法人 モバイル・コンテンツ・フォーラム (MCF)、一般社団法人 日本eスポーツ連合 (JeSU) のゲーム関連4団体では、ゲームプレイにより引き起こされる事象に関する調査・研究およびゲームの楽しみ方に関する啓発などを推進する4団体合同検討会を設置しました。現在4団体合同検討会では、外部有識者の研究会と連携してゲーム障害についての調査研究を進めており、今後効果的な対策の検討なども進めます。当グループは、4団体合同検討会と連携しながら適切な対応を行っていきます。

**遊** 遊技業界では、2003年のぱちんこ依存問題研究会の発足を契機に、のめり込みに関する対策に乗り出しました。2006年には、業界団体の支援によって「リハビリサポート・ネットワーク (RSN)」が設立され、啓発活動や電話相談などの幅広い取り組みを展開しています。

このほか遊技業界では、2016年12月に「特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律」(IR推進法) が公布されたことに伴い、国のギャンブル等依存症対策に対応するため、2017年1月に、遊技産業14団体 (総称：パチンコ・パチスロ産業21世紀会) が「パチンコ・パチスロ依存 (のめり込み) 問題に対する声明」を発表。これまで「RSNの相談時間」の拡大、「自己申告プログラム<sup>\*1</sup>」の対象項目追加、「家族申告プログラム<sup>\*2</sup>」の導入、全国各店舗で依存問題に関する相談に応じる「安心パチンコ・パチスロアドバイザー」の配置や2018年2月に施行された改正規則に適合する遊技機への入れ替えなど、様々な取り組みを推進しています。さらには同年12月に業界の依存問題対策について評価・提言を行う第三者機関「パチンコ・パチスロ産業依存対策有識者会議」を発足させ、客観的な意見を取り入れる環境を構築しました。

また、2019年12月には、依存問題対策の指針や具体的な取り組みを明記した「パチンコ依存問題対策基本要綱」並びに「パチンコ・パチスロ産業依存問題対策要綱」を策定・公表し、依存問題対策の取り組みを加速させています。

当グループは、こうした取り組みを主導し、業界の健全な発展に貢献していきます。

\*1 ご自身が、1日の使用上限額や上限遊技時間、1ヶ月の来店上限数を自己申告すると、その上限を超えた場合に入店を制限するプログラム  
\*2 ご家族からの申告により、ご遊技をされるお客さまの同意のもと、入店を制限するプログラム



依存症ポスター

## 安心安全なIR 施設の開発・運営を目指して

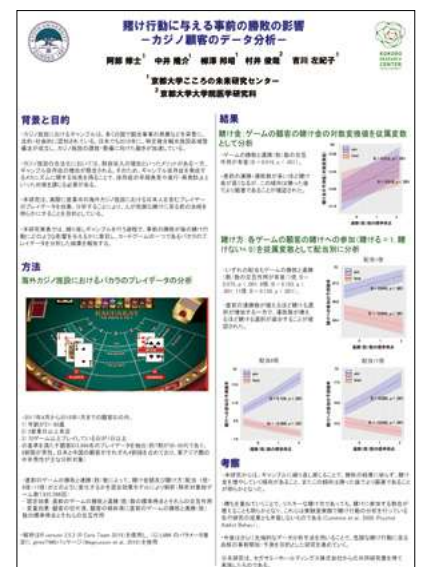
### ■ ギャンブル依存症についての産学共同研究を開始

**R** セガサミーホールディングスと、国立大学法人 京都大学は、ギャンブリング行動の遷移に関するデータの収集と分析を通じて、ギャンブル依存症のプロセス研究<sup>\*</sup>を産学共同で行います。

本研究は、実際に営業中の海外カジノ施設におけるプレイヤー (日本人を含む) のプレイデータを収集・分析することにより、人が危険な賭けにいたる前の兆候を明らかにすることを目的として実施します。セガサミーグループでは、本研究成果と結びつけることにより、依存症の兆候がみられるプレイヤーを早期に発見し、深刻化を未然に防ぐ仕組みの確立を目指します。あわせて施設利用時における自制・抑制を促す施設オペレーションを確立することで、啓発・予防から医療機関などによる治療との連携まで一貫した体系的なギャンブル依存症対策の構築を目指します。

これまでの研究では、「賭け行動に与える事前の勝敗の影響」がデータ解析より明らかになりました。このことに関する論文の執筆も完了し、2019年9月に日本心理学会第83回大会にて研究発表しました。依存症兆候の検知に向けては、継続的に研究を進めています。

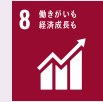
\* 本共同研究は、京都大学こころの未来研究センターにおいて、2023年3月まで延長して実施予定。



心理学会ポスター



# お取引先とともに



## グループCSR憲章

私たちは、お取引先と公平・公正な関係を保ち、互いに切磋琢磨し、良きパートナーとして、共に感動体験を創造し続けます。

## グループ行動規範

### 「公正な関係」「公平な選定」

- (1) お取引先との関係は、常に清廉・透明・公正なものとし、もたれ合いや癒着と誤解されるような行動は、一切行いません。
- (2) お取引先との関係において優越的地位を濫用した不当な不利益を及ぼす取引<sup>※</sup>は行いません。
- (3) お取引先の選定については、信用度、技術力、開発力、価格、環境への対応力等を総合的に考慮し、公平かつ明確な基準で判断します。
- (4) グループ会社とも、透明で公正な取引を行います。

### 「接待・贈答」

- (5) お取引先に接待・贈答を行う場合は、社内で定められたルールに従うだけでなく、社会的常識に照らし合わせ、節度を保ち、適切に判断し、実行します。

### 「個人利益」

- (6) お取引先とは、立場を利用して利益や便宜の供与を受けるなどの個人的利益の追求を行いません。

※ 私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律(独禁法)、下請代金支払遅延等防止法(下請法)等をいう。



**SEGA Sammy**  
HOLDINGS

セガサミーホールディングス(株)  
リゾート事業本部

内島 崇  
(Uchijima, Takashi)

## 全員一丸となって権威ある賞を獲得

韓国・仁川のパラダイスシティにおいて、ファミリー対象施設「ワンダーボックス」開発プロジェクトマネージャーを担当しました。「夜の遊園地」というコンセプトの具現化を8ヶ国以上の方々と創り上げ、2019年3月に開業しました。開発期間中は極力現場に赴き迅速な意思決定とマネージメントで効率的な品質・コスト・納期の管理を行い、開発に関わった全員が一つのチームとして開業というゴールをまずは達成できるように心がけました。開業後の運営においても、お客さまの満足度向上を関連ベンダーとの協力で日々切磋琢磨しており、結果としてエンタテインメント業界の権威の一つであるTEAという団体が行っている表彰制度で、世界の優れた文化施設に贈られる「アウトスタンディング・アチーブメント賞」を受賞できたことはプロジェクトにかかわった全員の成果だと思っています。今後も常に新しい遊びを提供し続けていきます。



「夜の遊園地」をイメージした幻想的な内観

## 世界で作って世界へ届ける。 より多くのお客さまに楽しんでいただける ゲームソフト展開を目指して

日本から海外、および海外から日本へのゲームソフト展開を推進するため、セガが培ってきた海外ビジネスのノウハウや流通網を用いて、新たな販路を築きたいソフトメーカー様のニーズにお応えしています。

海外でゲームソフトを販売する際、あらゆる面でローカライズ（現地に適した手法）をとることが大切です。先日、とある国内ソフトメーカー様の商品ライセンスをお預かりしてアジア地域で販売したところ、期待を上回る結果を残すことができ、ソフトメーカー様にも大変喜んでいただきました。現地の言語で自然な言い回しになるよう仕様変更をしたり、現地社員が適切な営業・プロモーションを行なうなど、細やかな対応がこのプロジェクトの成功、そしてソフトメーカー様の満足につながっていると確信しています。

私たちの業務はいわゆるBtoBビジネスですが、その先で待っていてくださる世界中のエンドユーザー様に多くのタイトルをお楽しみいただけるよう、より広い地域への展開も実現していきたいと思っています。



アジア地域での  
商談会の様子



SEGA®

(株)セガ  
グローバルパブリッシング事業本部  
ジャパンアジアパブリッシング  
事業統括部 事業開発統括部 ソフト推進部

田草川 貴子  
(Takusagawa, Takako)



Sammy

サミー(株)  
研究開発統括本部  
知財・渉外本部 渉外部  
(右)伊東 竜馬 (Ito, Tatsuma)  
(左)松本 翔 (Matsumoto, Sho)

## 業界全体の未来のために

渉外部では、ぱちんこ業界全体をより良い方向へ主導していくため、その具体的な方策を企画立案し、ライバルである競合他社とコンセンサスを図りつつ、お客様であるホール団体や監督官庁である警察庁などと調整・交渉を行い、実現につなげることを主な業務としています。

私たちは、サミー社員として、業界におけるリーディングカンパニーであるという誇りを持ち、業界が抱える遊技人口の減少や依存対策などの問題、また遊技性向上や流通健全化といった継続的課題、さらに直近では新型コロナウイルス感染症の感染拡大による営業自粛や、自然災害に対する社会貢献活動など、様々な課題の解決に向け業界の中心でリーダーシップを発揮し、業界の活性化・効率化・健全化を押し進め、業界と企業の持続可能性に寄与するための活動を行っていきます。



組合による  
ファンイベントの様子



## 公平・公正な取引の徹底

### お取引先への要請事項

「セガサミーグループ・サプライチェーンCSR調達ガイドブック」にそって、以下の項目に対する取り組みをお取引先へ要請しています。

- I. 労働  
非差別・人権尊重、賃金、労働時間、団結権、児童労働禁止
- II. 環境  
化学物質管理、環境影響の最小化、3R、廃棄物の適正処理と削減
- III. 安全衛生  
職場の安全衛生対策、労働災害・労働疾病、健康管理
- IV. 品質・安全性  
製品安全性の確保
- V. 公正取引・倫理  
汚職・贈収賄、優越的地位乱用等の禁止、情報提供、知的財産、輸出管理
- VI. 情報セキュリティ



「セガサミーグループ・サプライチェーンCSR調達ガイドブック」

[https://www.segasammy.co.jp/japanese/media/file/pr/commu/csr/20141101\\_supplychain\\_csr.pdf](https://www.segasammy.co.jp/japanese/media/file/pr/commu/csr/20141101_supplychain_csr.pdf)

### 調達・購買におけるCSR活動の推進



2015年度より「セガサミーグループ・サプライチェーンCSR調達ガイドブック」に対するご理解と実践をいただくことを取引の際の基本契約書に盛り込んでいます。既存のお取引先についても契約書の更新をお願いしており、概ね93%で再締結が完了しています。



遊技機事業では、「生産購買外注管理規程」など各種規程に基づき、お取引先の評価・選定を行っています。新規取引開始の際は所定の審査を行い、相手先や外部調査機関から入手した情報をもとに適正性を判断し選定しています。

継続監査にあたっては、每期内容を見直し、実施しています。2019年度については実施予定数81社に対し76社の実施に留まりました。残りの5社については新型コロナウイルス感染症の影響により実施することができませんでしたが、今期については前期の反省を活かし、リモートで監査する方法について検討していきます。

### 下請法遵守体制の強化継続



下請法の遵守をはじめとしたコンプライアンス体制の構築と運用を最重要事項と捉え、グループ全体を対象としたeラーニングの受講科目に下請法を追加するなど、社内教育の強化を図っています。例年11月に設定されている下請法強化月間における講習会への参加とその内容(変更点他)の水平展開をグループ会社の関係部門へも実施。遊技機事業の購買部内教育については新人、異動者に対する下請法教育プログラムの実施を標準化することにより、購買業務未経験者においても、これまで以上に速やかに下請法を理解し、業務に取り組むことができるようになりました。

また、お取引先との相互信頼と清廉性に則った健全な取引を維持していくことを目的に、相談窓口として社内外に「セガサミーグループ企業倫理ホットライン(内部通報制度)」を設置しています。なお、相談を受けた場合は、お取引先が不当な扱いを受けることがないよう事案にかかわったグループ各社の担当者ではなく、中立的な立場であるセガサミーホールディングスが対応し、担当役員が責任を持って対処します。

### アミューズメント(AM) 資材調達方針

#### [基本姿勢]

1. 当社のAM資材調達活動にあたる全ての社員は、法令・社会規範を遵守し、「セガサミーグループ行動規範」および各種社内規程に則り良識ある行動をします。
2. 当社のAM資材調達は清廉・公正を旨とし、お取引先に対して公平かつ誠実に対応いたします。
3. お取引先とは、公正な取引のもと信頼関係構築に努め、協力して技術・品質の向上、経済性・効率性を追求し、相互繁栄を目指します。

## ■ 児童労働・強制労働の禁止


**E** 主に海外の委託工場などでの児童労働および強制労働の禁止についての取り組みを進めています。プライズ商品の調達に関しては、セガ・インタラクティブでは、購買部門および品質管理部門が合同で毎月、製造委託先の工場を訪問し、工場監査を実施しています(サプライヤー監査、カバー率96%)。監査の結果、リスクが高いサプライヤーはありませんでした。また、2019年度は、購買および調達担当者19名がセガサミーホールディングス実施のCSR調達研修に参加しました。

セガ エンタテインメントでは、アミューズメント施設用のプライズ商品について、主要調達先への奴隷労働や人身取引に関するアンケート調査を実施し、管理状況の確認などを実施することによってリスク低減に努めています(サプライヤー監査、カバー率80%)。監査の結果、リスクが高いサプライヤーはありませんでした。

玩具商品の調達に関しては、セガトイズでは、児童労働および強制労働に関する法令遵守条項を盛り込んだ製造委託基本契約書の締結、購買部門社員や現地担当者の人権に関する研修の実施を行うとともに、第三者機関による製造委託先企業の労働基準順守証明書の取得状況のチェックなどを実施しています(サプライヤー監査、カバー率96%)。

## ■ 英国現代奴隷法への対応

**E** セガサミーホールディングスは、当社グループの事業及びサプライチェーンにおける奴隷労働および人身取引などの人権侵害を防止するための取り組みについて、2015年に英国で施行された現代奴隷法第54条の定めに基づき、本声明を公表しています。

 英国現代奴隷法に関する声明(仮訳)

[https://www.segasammy.co.jp/japanese/media/file/pr/commu/csr\\_library/uk\\_modern-Slavery-Act-statement\\_jp.pdf](https://www.segasammy.co.jp/japanese/media/file/pr/commu/csr_library/uk_modern-Slavery-Act-statement_jp.pdf)

## CSR調達研修

英国で現代奴隷法の制定がなされ、児童労働や強制労働などの人権侵害問題の法規制が進んでいます。エンタテインメントの業界もこれら人権侵害問題と深いかわりがあり、グループ企業7社の調達、購買関係者を対象に2018年度よりCSR調達研修を実施しています。2019年度は新型コロナウイルス感染症の対策の影響で延期していますが、今後も、講義『CSR調達～サプライチェーンへのCSR浸透～』、カードゲーム『GAME OF CHOICE』を通じて理解を深めるとともに、セガサミーグループの一員としての社会との関わり方について考える機会を創出していきます。

## お取引先とのパートナーシップ

### ■ サプライヤーとの連携

**E** セガ・インタラクティブでは、開発方針、調達方針などを説明するサプライヤーミーティングを開催し、環境配慮や品質への取り組み課題を共有するなど、サプライヤーとの連携強化に努めています。2019年度は90社161名のお取引先にご参加いただき、うち98.7%から「有益だった」との回答をいただきました。



2019年度サプライヤーミーティングの様子



# 社員とともに



## グループCSR憲章

社員一人ひとりの創造性とチャレンジ精神がグループ発展の源であり、最大の財産です。私たちは、社員がもつ限りない可能性を最大限発揮できる企業文化を育み、ともに成長していきます。

## グループ行動規範

### 「職場環境の整備」

- (1) 社員の安全と健康に配慮し、安心して勤務できる職場環境を構築します。
- (2) 社員が個々の能力を十二分に発揮し得る、「働き甲斐」「やり甲斐」のある柔軟性に富んだ会社になります。

### 「ハラスメント」「差別」

- (3) セクシャルハラスメント、パワーハラスメント、プライバシー侵害等、職場環境を乱す行為は行いません。
- (4) 人種・信条・性別・年齢・障害・学歴・門地等を理由とした、雇用機会や待遇の均等を損ねる差別行為は行いません。

## 新型コロナウイルス感染症対策とリモートワーク環境について

プラットフォーム部ネットワーク課では、リモートワークを行うためのインターネット回線の提供、VPN装置の構築、運用、管理を行っています。またユーザーサポート課では、PCの設定サポート、問い合わせ対応、オンライン(音声・ビデオ)会議のサポートなどを行っています。

新型コロナウイルス感染症対策においてほぼすべての社員がリモートワークを行う必要もあり、3月から4月にかけて設備の増強を行い、現在は安定稼働していると認識しています。可能な限り業務の生産性を低下させないよう、IT面においてサポートすることを意識しています。今後リモートワークがより浸透していくことが想像できますが、まだまだ課題もあると思っているので、ITの側面からセガサミーグループに対し、より良いリモートワーク環境を提供していくことができるよう努力したいと思います。



**SEGASammy**  
HOLDINGS

セガサミーホールディングス(株)  
ITソリューション本部  
プラットフォーム部 ユーザーサポート課

(右)石森 拓郎 (Ishimori, Takuro)

(左)小宮 康幸 (Komiya, Yasuyuki)

## チャレンジングなタイトルを開発するために!

現在、カジノに提供するタイトルのソフトウェア開発に携わっています。その中で、スロットマシンのソフトウェア開発をサポートするパッケージライブラリの作成を担当しています。

カジノ市場でタイトルを販売するためには、国や地域ごとの様々なレギュレーションに対応しなければなりません。また、カジノゲームに必要な不可欠な機能も多数存在し、一つひとつ対応する必要があります。

パッケージライブラリがそれらの基本的な機能を提供することで、開発者は基本的な部分の実装に煩わされることなく、今までにないチャレンジングなゲーム性の追求に集中することができます。

セガサミークリエイションだからできる革新的なタイトルの開発に貢献できるように、今後もパッケージライブラリの開発を続けていきたいと思っています。



セガサミークリエイション(株)  
開発本部 ソフト開発部  
畦浦 龍 (Azeura, Ryu)

## 会社理念を謎解きで楽しく!

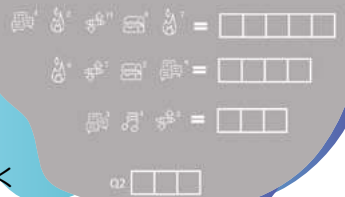
ダーツライブは独自のコーポレートアイデンティティ(以下CI)を掲げ、日々理解を深めることや業務での実践を意識しています。私の所属する部署では月に1回自分なりのCI・カルチャーについてスピーチする機会があるのですが、せっかくならエンタテインメント企業らしくいただれもが楽しめる方法でCIについて理解を深めることができないかと考え、自分の得意分野の一つ「謎解き」をつくってみることにしました。発表すると予想以上の盛り上がりとなり、結局この謎解きは部署を超えて全社員で楽しむことに。自分のつくった謎解きが学びを深めるきっかけになったこと、とても嬉しく誇りに感じています。



(株)ダーツライブ  
サービス戦略本部  
トータルサービス企画部  
秦 昂司 (Hata, Koji)



仲間を探して答えを導きだせ



## 好きや得意を発見しよう!

### 動画共有・応援コミュニティ「アメチャ」

子どもの“好き”や“得意”を発見して伸ばしてあげられる、そんなサービスを提供したい—そのような想いで動画共有・応援コミュニティ「アメチャ」を2020年4月にリリースしました。

もともとは「子ども世代のマーケットデータ収集」という自社の課題解決を目指してスタートした企画であるため、総務部経営企画課とプロモーション部による混合チームで動いています。セガトイズ初の自社メディアということもあり、新しいことを生み出す苦勞もありましたが、チーム内での情報共有を綿密に行ったり、グループ企業

であるトムス・エンタテインメントのメディア立ち上げ経験者からご意見やアイデアをいただくなど、多様な視点から企画を見つめることで、ワクワクするメディアをつくることのできたと思っています。

このメディアによって子どもたちの個性が育まれ、様々なジャンルのスターが生まれて、いつか「MEIJIN」という言葉が世界共通言語になってくれたら嬉しいです。



<https://amchannel.top/>



(株)セガトイズ 企画本部プロモーション部  
(下段右)東方 嘉基 (Toho, Yoshiki)  
(上段中央)戸井田 怜鷹杜 (Toida, Reoto)  
コーポレート本部総務部  
(上段左)山田 重雄 (Yamada, Shigeo)  
(下段左)伊藤 ゆき (Ito, Yuki)  
(下段中央)野田 哲郎 (Noda, Tetsuro)  
コーポレート本部  
(上段右)矢島 源一郎 (Yajima, Genichiro)





SDGs

LGBTs

LGBTsドキュメンタリー映画上映&  
トークセッション実施



女優の東ちづるさんをお招きして、LGBTsドキュメンタリー映画の上映と里見治紀社長とのトークセッションを実施しました。60名の社員が参加し、生きづらさを感じながらも「自分らしく生きる」ことを模索し続けるセクシャルマイノリティの当事者たちの声に耳を傾けることで、誤解、勘違い、思い込み、偏見、差別などの見えない障がいを知り、理解を深める機会となりました。

## ダイバーシティの理解促進プログラム「SDGs×LGBTs」

### SDGs取組みテーマ(関連するSDGs)

働きがい・多様性の向上と不平等の排除



ジェンダー平等を実現しよう



働きがいも経済成長も



人や国の不平等をなくそう

### プログラム

#### 1. 映画上映

女優 東ちづるさんが企画・インタビュー・プロデュースの記録映画「私はワタシ over the rainbow」

LGBTsなどセクシャルマイノリティの方50名以上のへのインタビューを収めたドキュメンタリー映画

監督：増田玄樹、プロデューサー：東ちづる、制作：一般社団法人Get in touch

#### 2. 東ちづるさんと里見社長によるトークセッション

#### 3. 東ちづるさんと意見交換会

## 受講者コメント

- LGBTだけでなく、マイノリティ全体が網羅されている会だったことは良かったです。
- 「知らない」ということが他人を傷つけたりすること、個人という人格を「理解する」ということが大切だということを教わりました。
- 当事者の身近にいる人も生きづらさを感じることがあります。それは無知だからではなく、まだまだ知る機会が少なく、受け入れるより先に先入観を抱いてしまうからだだと思います。リラックスしながら知ることができる機会は貴重だと思うので、全員が視聴した方がいいなと思いました。
- 参加したことでこれまでより確実に「多様性」について寛容になった気がします。
- もし自分がたまたま男性を好きになったら、LGBT。もし、自分や家族が明日交通事故にあって障がいを持つことになったら障がい者。そうなるでも働ける会社・社会にしたい、との東さんや里見社長の自分事としての言葉やすべての人が何らかのマイノリティという言葉に納得感がありました。
- ネットで検索して知り得る情報は知識でしかないので、映画のインタビューで生の声を聞いたことで、LGBTsについてより理解を深めることができました。
- 里見社長が具体的な施策について力を入れており、多様性を認めるメッセージは、大きな信頼感、安心につながるのだと思いました。



## 東ちづるさんコメント

SDGsバッジをスーツの襟に輝かせている会社員の方をよく見かけるようになりました。ですが実際は、いまだ取り組めてないという会社も少なくありません。企業の率先は大きな意味があります。「私はワタシ over the rainbow」上映&トークのLGBTs研修は、まさに人権と企業を考える会でした。御社の活動が、社内はもちろん、他社や社会に大いに刺激を与え、誰も排除しない「まぜこぜの社会」の扉が開くことを期待しています。



## TOPIC

### 東京レインボープライド2020

オンライン「#おうちでプライド」

セガサミーグループは、SDGsの実現を通じて多くの個性が活躍できる社会の実現を目指しダイバーシティを推進しています。その一環としてLGBTをはじめとするセクシャル・マイノリティの存在を社会に広め、「性」と「生」の多様性を祝福する東京レインボープライドに2019年より協賛しています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、2020年4月25日～5月6日に予定されていた「東京レインボープライド2020」は開催中止になりましたが、同時期に行われた「TRP2020 オンライン「#おうちでプライド」」に参加。のべ約44万人が視聴したオンライントークライブ&パレードではセガサミーグループの動画が放映されたほか、多くのグループ社員がSNSを通じて世界中に発信しました。



## 人財の育成と評価

### 人事制度

**E** セガホールディングス、セガ・インタラクティブ、セガゲームスでは、社員の長期的なキャリア形成とプロ意識の向上のため、複線型人事制度を導入し、組織を率いていく「マネジメント職」と知識や技術を活かしていく「プロフェッショナル職」のコース選択を可能にしています。また、定期的に「従業員満足度調査」を実施し、社員の課題認識や期待値・不満度などを確認の上、モチベーションの向上に向けた各種人事施策へと展開しています。

育成環境面では、新入社員一人ひとりに対して公私両面のサポートを専任で行う「コーチ制度」を設けているほか、「新入社員フォロー研修」「2年目研修」など、若手社員の成長を支援する教育体系が整備されています。

評価・報酬面では成果や行動発揮に加えて時間生産性を考慮した評価／インセンティブを導入し、生産性の高い働き方を実現した社員に報いる取り組みを進めています。

**遊** 社員全員がプロ意識を持ちチャレンジし続けるために、「マネジメントコース」と「プロフェッショナルコース」の自己選択型の制度を整備しています。社員一人ひとりに求められる役割を明確化し、また成果貢献に応じた適正な処遇により社員のやる気と成果に報いることでパフォーマンスを最大限に引き出すことを目指しています。

また、人財育成については階層別研修に加えて、管理職に対する能力開発機会の提供を充実させマネジメント力の向上や公平な評価の実現についても強化を図っています。社内表彰制度では、2019年度の「社長賞」は10案件・55名が、社員のチャレンジをより奨励するための「積極進取賞」では9案件・47名が表彰されました。さらには、積極進取の精神でアイデアを会社へ提案する制度『やっちゃえG30』を2016年より発足させ、これまでの約500件の提案があり、うち63件が具体的な施策として実現しています。そのほか、社員満足度調査や、将来的にチャレンジしたい仕事の自己申告制度など、様々な施策を展開しています。

※ 社内表彰制度について2019年度分は新型コロナウイルス感染症の影響により、現状決まっていません。

### 人財育成

#### ● SEGASAMMY Collegeにおけるオンライン研修の取り組み

セガサミーグループの横断的人財育成機関『SEGASAMMY College』では、年間4,000名以上の方々が様々な講座で学びを修めています。

学びのスタイルは講堂での集合研修に留まらず、「遠くても学べる」をコンセプトに、階層別研修“Leadership Program”や希望者向け研修“道場”をオンライン化し、eラーニング型、リアルタイムセッション型、ハイブリッド型を用意して、海外も含めた全国のグループ社員の学びを後押ししています。

2020年4月に行われたグループ新入社員研修は、緊急事態宣言により集合研修が実施できなくなりましたが、こちらもオンライン型に切り替えながら、単にインプットするだけではない、自ら探す、仲間と深める、セガサミーの感動体験と向き合うを軸としたプログラムにて16日間にわたる研修を実施しました。

SEGASAMMY Collegeは、これからも時代のニーズに合わせて Game Changer = 革新者としての学びの場を提供していきます。

#### ■ SEGASAMMY Collegeの体系図

	階層別研修	選抜型研修	希望型研修
経営層		経営塾(社外修行) ・知命社中4期 ・経済同友会 ジュニアリーダーシップ・プログラム ・ベンチャー出向1期 リーダーシッププログラム 里見塾 里見塾4期	
マネジメント層	リーダーシッププログラム Managers 階層別研修1期(本研修)	リーダーシッププログラム 治紀塾 治紀塾1期	手上げ式道場 モチベーションUP・ポータブルスキル・資格取得等
一般	階層別研修2期(事前必修道場) I. (必修) 経営戦略・マーケティング・アカウントティング・課題設定力 II. (推奨) ファイナンス・人的資源管理・コーチング・エンパワメント等 リーダーシッププログラム Leading Players 階層別研修1期(本研修)		
	階層別研修2期(事前必修道場) I. (必修) 論理思考力・問題解決力・コミュニケーション力 II. (推奨) ファシリテーション・交渉力・質問力等		
新入社員	新入社員研修 セガサミーの歩き方(理念・行動様式)		

## ■ のべ受講者数実績 (2019年度)

	研修名	参加人数(名)
選抜型研修	知命社中4期 15 DAYS	2
	経済同友会 ジュニア・リーダーシップ・プログラム 15 DAYS	1
	里見塾4期 10 DAYS	16
	治紀塾1期 9 DAYS	12
	ベンチャー出向1期	2
階層別研修	階層別研修1期(本研修)	276
	階層別研修2期(事前必修道場)	1,413
	グループ新入社員研修	212
希望型研修	手上げ式道場(47講座) (うち、社内講師による講座は7講座)	2,464
参加者人数合計		4,398

※ 受講者数実績は2019年4月～2020年3月までの1年間の数値です。



オンラインで行われた新入社員研修

## 多様性の推進

### 女性活躍推進

**E** 女性が十分に能力を発揮し、活躍できる環境を整備して企業の成長につなげるため、行動計画を策定して目標達成に向けて取り組んでいます。

セガホールディングス、セガゲームス、セガ・インタラクティブでは、2016年から2020年までの4年間を計画期間として、新卒採用における応募者の女性割合を30%以上とする目標を掲げ、性別にとらわれない公正な選考に向けたガイドラインの策定や、大学などと連携した女子学生向けセミナーを実施しています。また、社員の育児休業後の復職定着率100%の実現を目標とし、休業中の方への情報提供や、子が3歳になるまでは育児短時間勤務であってもフルタイムと同様の給与を支給する福利厚生などを取り入れています。また、2019年より育児短時間勤務者にもフレックスタイム制度を適用しています。

**遊** 育児休業中の社員に対するキャリアと育児の両立支援を目的に、休業中のキャリアブランクを無くすための能力開発機会としてeラーニングを導入したり、会社の状況を把握できるようコミュニケーションツールの導入を行っています。また、女性社員が求めるキャリア開発施策について、自らが考え、よりニーズに合った施策を導入するために、女性社員による検討プロジェクトチームを立ち上げて活動を行い、女性のキャリアに関する講演会の実施、女性社員の交流会開催、メンター制度導入、管理職向け研修の実施などの取り組みを行っています。

## 人権の尊重

### ハラスメント撲滅への取り組み

**E** セガホールディングス、セガ・インタラクティブ、セガゲームスでは、すべての社員が気持ち良く働き、最大のパフォーマンスを発揮できるよう、ハラスメントの防止に注力しています。社内研修やイントラネット上で気軽にできるミニテスト、ケーススタディを利用し、ハラスメントに関する理解の徹底を図っています。また、役員および社員(受入出向者、アルバイト、派遣社員を含む)が不安や悩みを相談できる窓口を、相談内容によって選べるよう社内外に複数設置しています。

## 働きやすい職場環境の整備

### ワークライフバランスの推進

**E** グループとして取り組んでいる「働き方改革」の一環として、セガホールディングス、セガゲームス、セガ・インタラクティブの3社に、2017年7月より「フレックスタイム制度」を導入しました。社員一人ひとりの時間管理意識を高め、労働生産性の向上およびワークライフバランスの充実を目指しています。また、2018年7月より一部の副業を認める「J〇B+(ジョブプラス)制度」、2019年2月よりLGBTsの社員に向けた支援制度を導入し、多様性を尊重した取り組みを進めています。さらに、セガホールディングスでは2019年4月より、セガゲームス、セガインタラクティブでは同年10月より自宅などオフィス以外の



場所で働くことを認める「在宅勤務制度」を導入しました。介護・育児・看護などの様々な諸事情と、仕事の両立の一助となる本制度により、安心して働ける環境を整備しています。

**遊** フレックスタイム制度、2018年4月から正式導入した在宅勤務制度、育児、介護等の事情を抱えた方向向けに短時間勤務者用のフレックスタイム制度などを導入しています。また、JOB+制度の導入により、本業(サミーでの仕事)だけでなく、自身の経験値アップや自己実現ができる環境を整えています。

## 労働安全への取り組み

**E** 社員の健康と安全を守るため、安全衛生委員会を毎月開催しています。また、現場で発生する事故に対して、常に予防または改善することを徹底し事故件数をゼロにするための取り組みを進めています。万が一、現場で事故が発生した場合には、直ちに原因追究をするとともに、改善を行い再発防止に努めています。

**遊** サミー川越工場では、社員自らが身の周りにひそむ危険要因をチェックし、都度改善する「6S\*パトロール」活動や、さらにセキュリティと節電の2つのSの観点を加えた「8Sパトロール」活動を行うなど、社員の健康と安全を守ることに力を注いでいます。2019年度は、工場独自に作成した「安全・衛生基準」に対して、安全衛生委員会活動を通じ、内容の見直しを行いました。日々の生産活動を振り返り、現場の実情に即した基準(ガイドライン)へ昇華させています。

\* 6S：整理・整頓・清掃・清潔・躰・セーフティー

## 健康管理

**遊 E** 大崎にグループ会社が集約したのを機に、セガホールディングスの健康管理センターとサミーの医務室を統合し、セガサミーホールディングスの健康管理センターを設置しました。産業保健スタッフが4名常駐し、勤務中いつでも相談できる体制を整え、より専門的な相談には内科、精神科の医師が交代で勤務することにより対応しています。

各社で実施しているインフルエンザの集団予防接種やストレスチェック、課題となっている風疹対策についても今後、グループ全体での取り組み方法を検討していく予定です。

フレックスタイム制度の導入で長時間労働面談対象者は減少しているものの、該当者に対しては問診票を配布し、健康状態を確認するとともに、所属長への労働時間管理の徹底、および休暇取得促進などを実施することで、グループ社員が健康でワークライフバランスのとれた生活ができるようにバックアップしています。

**E** 安全衛生委員会は大崎勤務者が共通認識を持てるよう、セガサミーホールディングスを中心にグループ会社合同で毎月実施しています。そして、議事録や関連情報は各社内イントラネットに掲載し、社員への周知・注意喚起に努めています。

定期健康診断は実施率100%を目指し、巡回健診の継続、人間ドック受診料の補助などの支援を続け、安全衛生の観点から会社独自の基準を設け、健康管理面談を実施し、未病の改善、生活習慣病の予防に努めています。






**遊** サミーでは2019年9月から11月にかけて、社員の健康増進に向けた取り組みとして、運動不足解消や禁煙に関する社内イベントを行っており、約400名が参加しています。

## TOPIC グループ企業の開発者による交流(勉強会)

本社移転後の取り組みとして、セガをはじめ、グループ会社との交流も積極的に行っています。

セガ主催で「セガ デベロッパーズカンファレンス」という技術カンファレンス、アーケード部隊が実施している「GITEN」と呼ばれる社内みの技術基礎研究発表会、AI共有会、自動化共有会、Game Jamなどをグループを挙げて実施しています。

今後、グループ会社間の人財の交流を積極的に進めて、これからますます総合力を発揮するために取り組んでいきます。

	セガ主催の開発技術交流会に、サミーの開発部門が発表者で参加
	アミューズメント機器部門主催 グループの開発部門交流会を実施
	サミーの主催するAI技術に関する交流会(セガゲームス、サミーネットワークスなど)
	セガ主催、自動化技術に関する月例の情報共有会
	2日間で自作のゲームを作る セガ主催のイベント



# CSR研修

2013年度から、グループ企業の社員に向けてCSR研修を実施しています。2019年度は21回開催し、761名が受講。通算148回開催し、グループ13社の4,090名が受講しました。「社会と企業の共生」「セガサミグループのCSR活動」という2つのテーマについて、講義やグループワークを通じて理解を深めるとともに、セガサミグループの一員としての社会とのかかわり方について考える機会を創出しています。

## 2019年度の開催実績

企業名	回数(回)	参加者数(名)
SSGE	1	64
6社合同(SSHD、SHD、SAMMY、SE、SGC、SIC)	5	242
5社合同(SSHD、SHD、SAMMY、SGC、SIC)	2	45
11社合同(SHD、SAMMY、ATLUS、DL、SE、SGC、SIC、SLS、SNW、TMS、TOYS)	4	172
6社合同(F55SSHD、SHD、SAMMY、ATLUS、SGC、SIC)	5	190
PSR	3	48
セガサミー野球部	1	30
2019年度計	21	791
2013年度からの総計	148	4,090

## CSR研修プログラム<sup>※1</sup>

- 14:00 開会、研修趣旨説明
- 14:15 講義①「社会と企業の共生」  
講義②「セガサミグループCSR活動」
- 15:15 休憩
- 15:25 グループワーク①(ワールドカフェ<sup>※2</sup>)
- 16:45 グループワーク②(ワールドカフェ<sup>※2</sup>)
- 17:20 発表
- 17:45 「私のCSR宣言」、「受講アンケート記入」
- 18:00 閉会

※1 対象によって一部内容が異なります。  
※2 カフェにいるようなリラックスした雰囲気です4～5名で対話すること。

## 研修の様子と受講後アンケート

- CSR研修では、まず講義で「社会と企業の共生」「セガサミグループのCSR活動」について理解を深めます。
- その後ブレインストーミングや討論によるグループワークを通じて、互いの意見や社会課題解決へのアイデアを共有しています。
- グループ間交流もできるため、研修受講後のアンケートでは、86%以上の方が「役に立った(楽しかった)」と回答しています。また、受講者の89%がCSRの重要性について理解を示し、90%以上の方が、CSRの取り組みと企業の持続可能性について関連が大きいと考えています。



## 受講者コメント

- SDGsのことがあまり理解していなくて、この研修で理解できた。視野が広がった(普段とは違う視点で見られた)。
- 自分が成長するため、会社が成長するためにCSR活動は不可欠だということが分かった。“価値”を見出せるように頑張りたい。
- 野球部でできる社会貢献があれば、地域や社員の方との交流をしてみたいと思いました。
- CSRの活動によって、企業価値は高められていく。野球部として、会社への一体感、団結力、そして、宣伝効果として頑張りたい。
- 勝つことはもちろんだが、それ以上に大切なものがあるということを忘れず、今後もCSR活動に取り組んでいきたいと思った。
- 業務のスキル向上だけでなく、社会人としての人間力を向上させていく必要性を感じた。
- 日本の企業が長く続くことはCSRを大切にしているからだ分かった。
- 日々の仕事から、会社、社会に貢献していることを意識しながら仕事をしていきたいです。
- 他部署の方とのコミュニケーションの場もあり、楽しかったです。
- ボランティアとか具体的な活動だけをイメージしていたが、そうでない部分もあり、企業にとって非常に大事な活動ということを再認識できて良かった。
- メンバーによって内容に差はありましたが、ワールドカフェの参加自体が初めてだったので楽しめた。
- CSR活動にも「守り」「攻め」があることを知らなかったが、よく理解できた。
- 一見、社会問題とは無縁と思われるエンタメ企業も「明日への活力」の提供という形で社会貢献ができるという考え方はとても素敵だった。
- 「ワールドカフェ」では普段接点がない方々と沢山お話できたことがとても良かった。
- 講義の内容は、グループの良い面が分かり、とても参考になったこと、誇らしく思うきっかけになったことが、仕事へのモチベーションにもつながった。

## 人事・労務に関するデータ

### 対象範囲・集計方法

- 2017年度および2018年度：国内15社、海外2社（社員構成のみ）、2019年度：国内13社、海外2社（社員構成のみ）
- ※ 2019年度のカバー率：売上比率約【9】割以上、正規雇用人数比約【7】割以上
- 国内：SSHD、SHD、SAMMY、BTF、DL、PSR、SE、SGC、SIC、SLS、SNW、TMS、TOYS
- 海外：SOA (Sega of America, Inc.) / SOE (Sega Europe Ltd.)
- 社員構成、障がい者雇用、管理職・役員構成は2020年3月末時点の数値です。

※ 略称は、P.2参照

### ● 社員構成

	2019(国内13社)			2019(海外2社)		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性
社員数(名)	11,181	7,621	3,560	465	266	199
正規雇用	6,324	5,076	1,248	465	266	199
非正規雇用*	4,857	2,545	2,312	—	—	—
社員数うち外国籍	80	54	26	—	—	—
平均年齢(歳)	40.3	41.1	37.3	—	—	—
平均勤続年数(年)	12.6	13.2	10.1	—	—	—

### ● 障がい者雇用

	2017	2018	2019
雇用人数(名)	205	212	211
雇用率(%)	2.12	2.14	2.05

### ● 管理職・役員構成

	2017	2018	2019
女性管理職者数(名)	81	102	86
女性管理職比率(%)	5.0	6.6	6.4

### 2019年度の内訳

	合計	専門職級	課長職級	部長職級	執行役員級	役員級
役職者別人数(名)	1,337	357	634	223	45	78
男性	1,251	326	590	216	43	76
女性	86	31	44	7	2	2
女性比率(%)	6.4	8.7	6.9	3.1	4.4	2.6

※ 2018年度より役職者に専門職を含めています。

### ● 採用

	2017			2018			2019		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
新卒採用者数(名)	139	86	53	135	84	51	201	126	75
新入社員離職率(%) (入社3年後)	20.4	16.4	28.1	15.7	5.3	31.4	22.6	10.8	40.7
中途採用者数(名)	226	169	57	224	133	91	193	131	62
定年後再雇用者数(名)	43	40	3	57	50	7	60	54	6

### ● 労働安全衛生

	2019
労働災害発生件数(件)*	18

※ 労働災害発生件数=休業災害(4日以上)の件数を集計しています。

### ● 両立支援制度利用実績

	2017			2018			2019		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
産前・産後休業取得者数(名)	55	—	55	66	—	66	70	—	70
育児休業取得者数(名)	95	21	74	130	24	106	136	40	96
育児休業復職者数(名)	56	20	36	82	22	60	73	39	34
育児休業復職率(%)	—	100	98.6	96.5	100	95.2	93.6	100	87.2

### ● ワークライフバランス

	2017	2018	2019
月平均時間外労働時間(時間)	21.9	19.7	19.4
有給休暇取得日数(日)	11.5	12.5	14.0
一般社員	12.2	13.1	14.6
管理職	9.3	10.5	12.0
有給休暇取得率(%)	63.7	69.5	75.6
一般社員	69.4	75.1	80.9
管理職	48.0	54.5	61.0
年間休日	124.1	125.8	128.0
ボランティア休暇のべ取得人数(名)	46	42	16
ボランティア休暇のべ取得日数(日)	70	101	18

### ● 両立支援制度の例

#### 育児

制度	SSHD、SHD、サミー等
育児休業制度	子が2歳に達した日以降も保育所に入所できない場合は、その後初めて到来する4月の保育所入所日まで
短時間勤務	小学就学まで、1日につき退勤時間を最長2時間短縮可 小学3年生まで、1日につき退勤時間を最長1時間短縮可

#### 注記

##### ■ 平均残業時間

「働き方改革」を推進しており、2017年度より裁量労働対象者についても可能な限り、在社時間等で残業時間に含めています。

##### ■ 有給休暇取得率

年間の有給休暇取得日数を年間の法定有給休暇付与日数で除して算出しています。なお、2017年度より管理職と一般職に分けて開示しています。一部グループ企業で採用している法定外有給休暇も加味しています。

##### ■ 年間休日

対象会社の年間休日を正社員の人数比で加重平均しています。

#### 介護

制度	SSHD、セガHD、サミー等
介護休業制度	1名につき93営業日まで取得可(介護短時間勤務含む)
介護短時間勤務	93営業日以内で、1日につき最長2時間取得可
介護休暇	積立年休の保有日数を限度とし、長期介護休暇を取得可



# 株主・投資家様々に



## グループCSR憲章

私たちは、グローバルな視点をもって事業を展開し、継続的な成長・企業価値の最大化を目指してまいります。そして、適正な利益還元と適時的確な情報開示をとおし、透明な経営を図り、株主・社会の期待に応えます。

## グループ行動規範

### 「透明性の高い経営」「双方向コミュニケーション」

- (1) 法令その他のルールに則り、会社情報を適正かつ公正に開示し、経営の透明性の確保に努めます。
- (2) 株主の声に積極的に耳を傾け、双方向性のある対話型コミュニケーションに努めます。

### 「積極的かつ公平な開示姿勢」

- (3) 投資家の理解に資する会社情報の積極的な開示に努めます。
- (4) 全ての投資家と公平に接し、会社情報の偏在防止に努めます。

### 「適正な利益還元」「企業価値の最大化」「持続性」

- (5) 効率的な資産運用と、適正な利益還元を行います。
- (6) 世界の情勢や動向に常に目を配り、社会の期待に応えながら、企業価値の最大化と継続的な成長を目指します。

### 「インサイダー取引」

- (7) インサイダー取引に関する法令\*・社内規程・ルールを遵守し、未公表の重要事実を厳格に取り扱います。

\* 金融商品取引法第166条等をいう。

## 企業価値向上は丁寧なコミュニケーションから

## VOICE



**SEGASammy**  
HOLDINGS

セガサミーホールディングス(株)  
財務経理本部 IR部

清水 みや子 (Shimizu, Miyako)

四半期ごとの決算発表をはじめとするコミュニケーションの場において、有益な情報公開や活発な意見交換ができるよう、きめ細やかで誠実な対応を心掛けて活動しています。

株主・投資家の皆さまの信頼を得るためには、前述のような情報発信・共有と同時に、いただいたご意見に謙虚に耳を傾け、適切に対応することも重要です。ご意見のポイントをしっかり捉え、分析し、社内へフィードバックすることも、経営に対する判断材料を提供するための必要な役割だと考えています。

また、決算発表会の社内配信など、社員の皆さまに「知る機会」を提供することで、社員一人ひとりが株主・投資家の皆さまの存在をより身近に感じられるような環境整備も継続的に行ってまいります。

これからも様々なかたちで質の高いコミュニケーション機会を創出し、セガサミーグループの企業価値向上につなげていければと思います。



## 株主・投資家への情報開示

### IRポリシー

セガサミーホールディングスは、「IRポリシー」に基づき、金融商品取引法、その他法令および東京証券取引所の定める適時開示規則に沿って情報開示することはもちろん、経営方針や事業活動などの情報を幅広く提供することで、株主・投資家の皆さまからの一層の理解と信頼を得るための活動に努めています。また、法定開示、適時開示規則に該当しない任意開示情報についても、投資家の皆さまの投資判断に影響を与えうるものは積極的に情報開示しており、東京証券取引所が提供するTDnetを通じて開示するとともに、当社WEBサイトでも開示しています。



セガサミーグループIRポリシー

[https://www.segasammy.co.jp/japanese/ir/ir\\_policy/](https://www.segasammy.co.jp/japanese/ir/ir_policy/)

### 株主・投資家とのコミュニケーション

#### 安心・安全な株主総会の実施

2020年6月の株主総会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、株主の皆さまには可能な限り当日のご出席をお控えいただき、郵送またはインターネットにより議決権をご行使いただきますようお願いし、多くの株主の皆さまにご協力をいただきました。

また、株主総会への来場をお控えいただくにあたり、インターネットによるライブ配信を行い、株主の皆さまに閲覧いただきました。

#### IR活動

国内外における投資家向け説明会などの実施や、株主・投資家の皆さまからのお問い合わせにお応えするためのIRインフォメーションセンターを設置しています。また、国内外の機関投資家や証券アナリスト向け決算説明会を本決算時に開催し、四半期決算に関しては電話会議による説明会を実施しています。当社事業への理解を深めていただくため、証券アナリスト向けの施設見学会や勉強会なども行っています。個人投資家の皆さまと積極的にコミュニケーションを図るために、個人投資家向けイベントなどにも参加しています。



個人投資家向け説明会

#### IR活動実績(回)

	2018年度	2019年度
決算説明会(四半期毎、電話会議を含む)	4	4
スモールミーティング	2	2
個別ミーティング(国内)	128	152
個別ミーティング(海外)	169	159
事業セグメント別説明会(施設見学会を含む)	3	0
海外ロードショー(カンファレンスを含む)	5(北米1、アジア2、欧州2)	5(北米2、アジア2、欧州1)
国内カンファレンス	4	4
個人投資家イベント	1	1

### IR活動に対する外部評価

2019年度にセガサミーグループのIR活動が第三者機関から表彰されたものは下記の通りです。

- 2019年度 全上場企業ホームページ 充実度ランキング 総合表彰、業種別表彰(機械) 最優秀サイト 日興アイ・アール株式会社
- Gomez IRサイト総合ランキング2019 金賞受賞 モーニングスター株式会社

- 2019年インターネットIR表彰 優良賞受賞 大和インベスター・リレーションズ株式会社



統合レポート

[https://www.segasammy.co.jp/japanese/ir/library/printing\\_annual/](https://www.segasammy.co.jp/japanese/ir/library/printing_annual/)

## 適正な利益還元

### 利益配分に関する基本方針

セガサミーホールディングスは、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題として位置づけ、利益に応じた適正な配当を行うことを基本方針としています。安定的な配当を実現すべく、配当は中間および期末の年2回とし、2019年度は、中間配当は1株あたり20円、期末配当は1株あたり20円を実施しました。

#### 株主優待拡充のご案内

株主の皆さまの日頃のご支援に感謝するとともに、当社のサービスを体験していただくことを目的に、2018年2月より株主優待制度を導入しています。また、皆さまからのご意見を参考に、株主優待を拡充しています。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、2019年6月にお送りした、2020年6月末日をご利用期限とするすべての株主優待について、利用期限を6ヶ月間延長しています。



配当実績及び株主優待制度

<http://www.segasammy.co.jp/japanese/ir/stock/share/>

# 社会とともに 環境



## グループCSR憲章

私たちは、企業市民として社会を構成する一員であることを強く自覚し、事業活動等を通じた社会貢献、芸術・スポーツなどの文化の発展支援、地球環境保護への取り組みを、積極的かつ自主的に行います。

## グループ行動規範

### 「地球環境」

- (1) 資材調達から製造・流通・使用・リサイクル・廃棄まで、商品のライフサイクル全般にわたり地球環境への影響を考慮します。
- (2) 地球環境の保護のために、関係法令および各種規制を遵守するだけでなく、積極的かつ自主的な取り組みを検討・実行するよう努めます。
- (3) 地球環境に対する意識が高く、公私ともに省資源・省エネルギーに努める人材を育成します。

## VOICE



フェニックスリゾート(株)  
コーポレート本部 エンジニアリング部  
(左)黒木 隆幸 (Kuroki, Takayuki)

## 令和元年度「宮崎県温室効果ガス排出抑制事業者」表彰

温室効果ガスの抑制には、電気やガスなどのエネルギーを効率的に使用する“省エネ”が必要です。フェニックスリゾートは1993年の開業当初から省エネルギーに取り組み、2019年、他事業者の模範となる特に優れた取り組みを行なった「宮崎県温室効果ガス排出抑制事業者」として表彰されました。

省エネは単にエネルギー効率の良い設備を取り入れるだけでなく、その設備をどこに設置すべきかを見極め、運用後のチェック・改善を重ねて取り組みの効果を最大限に引き出すことが重要です。また、施設をご利用いただくお客さま・働くスタッフの空間・環境の質を損なわずに省エネルギーを推進することを心掛けています。

これからも、お客さまと環境に対し何かできることはないかを常に考えながら行動し、快適なリゾートステイと省エネルギーとが両立する施設であり続けたいと思っています。

コンベンションセンターのロビー。  
照明を調節し、シーガイアらしい空間を損なうことなく、省エネルギー推進を行っています。



## ■ 取り組み内容

- 毎日のエネルギー使用量をグラフ化し、前年同月、同日と比較
- 晴天時と雨天・夜間時の照明点灯パターンを操作パネル横に明示、効率的な照明の点灯
- 月に1回程度、社内会議でエネルギー使用量の報告
- エネルギーマネジメントシステム(EMS)を導入することで、エネルギーを見える化
- 冷房用熱源機器や空調設備など高効率機器への更新
- LED照明機器への更新





## グリーン電力証書システムの導入



日本自然エネルギー株式会社  
<http://www.natural-e.co.jp/>

**E** 2005年4月より日本自然エネルギー株式会社と契約し、年間100万kWhの「グリーン電力証書(マイクロ水力、バイオマス)」を購入しています。さらに、横浜市神奈川区に設置している風力発電機(ハマウィング)を中心に行われる横浜市風力発電事業に賛同し、2007年4月より、「Y(ヨコハマ)-グリーンパートナー」として協賛しています。2019年度の実績は168,184kWhでした。



日本自然エネルギー株式会社が風力・バイオマス・小水力などによるグリーン電力(自然エネルギー)の利用を証するマーク。

## 製品の環境配慮設計



**E** メダルゲーム機の「パベルのメダルタワー」「レッ釣りGO!」において、従来製品「アラビアンジュエル」の消費電力と比較して47~55%削減するなど、省電力化への取り組みを継続しています。

これらアミューズメント機器は、現行製品の部品を新製品へリユース可能な設計にし、「けものフレンズ3プラネットツアーズ」では他タイトル中古筐体をリフレッシュして転用、また、StarHorse4ではStarHorse3のメインモニターを流用し、サテライトも改造でのゲーム継続も可能にするなど廃棄物抑制に努めています。



代替燃料RPF

また、整備・点検手順をマニュアル化して店舗で共有し、製品の長寿化につなげています。アミューズメント施設では、日常整備の徹底などで機器の長寿命化を図っています。

セガ・ロジスティクスサービスでは、処理コスト低減と不法投棄を防止するリサイクルシステムを全国展開しています。使用済み中古機器の保管管理をセガ・ロジスティクスサービスが担当し、優良中古機器はリユース販売へ、不要機器は補修用途のリユース部品化や産廃処理の工程へ進めます。同社が千葉県の子口事業所に招致する産業廃棄物中間処分業者では、機器の素材別手分解を行い、「埋立ゼロ・単純焼却ゼロ」の100%リサイクルを実施。アミューズメント機用の不要カードや用紙類、一部廃プラスチックは、代替燃料であるRPF(Refuse Paper & Plastic Fuel)となり、サーマルリサイクルにて熱回収されています。

## 遊

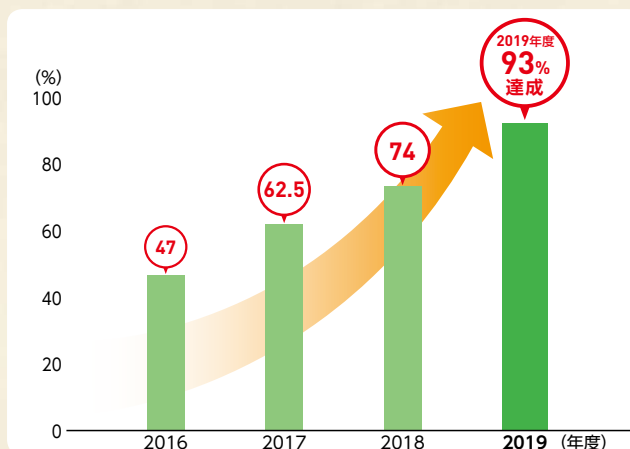
遊技機を構成している部品のリユース性を高めるため、設計・開発段階より部品・基板・ユニットの共通化を図り、2016年にリユースできる部品点数の目標値を定め、2018年度にどちらの目標値もクリアしました。2019年度はリユース効率と品質向上に向け、ぱちんこの盤面を構成する一部のユニットやパチスロの液晶・リール周辺のユニットを部品レベルまで細分解せず、ユニット単位の状態でのリユース化しています。

また環境配慮の観点から、中古遊技機の回収施策において従来の下取り条件の見直しと買取り施策により、2019年度の回収率は93%でした。

業界内においては、他メーカーと連携し、部品・ユニットのプラットフォーム化を図り、業界全体での環境負荷低減に向けた取り組みを継続しています。

環境への配慮として、ほぼすべての遊技機で待機中のLED(装飾部など)の明るさを抑えるなどの消費電力を抑制するエコ機能を搭載しており、導入を開始した2014年度以前の機種に比べて消費電力の5%の削減につなげています。また、お客さまご自身で音量や明るさを調節できる機能を追加。使用する部品においても高寿命、高効率な部品を使用し、ライフサイクル全般を意識した設計を行っています。このほか、ぱちんこ・パチスロにおいて鉛フリーはんだ部品使用率100%を達成しています。日本遊技機工業組合や日本電動式遊技機工業協同組合が、業界レベルで環境負荷物質の使用状況の把握と低減を目指す試みにも参加し、情報を共有しています。

### ● 中古遊技機の回収率



### ● 遊技機のリユース部品点数

	2018年度実績	2019年度実績	目標値*
ぱちんこ	約30	約40	15以上
パチスロ	約80	約80	50以上

\* 2016年度に設定

# セガの森



**E** セガホールディングスでは、長野県が仲介役となって進める「森林(もり)の里親促進事業」の趣旨に賛同し、2008年4月より長野県南佐久郡南相木村と「森林(もり)の里親契約」を締結しています。その対象となる民有林約3,633ヘクタール(東京ドーム約773個に相当)を「セガの森」と名付け、CO<sub>2</sub>吸収源となる森林の整備資金を一部提供することで地球環境保護に取り組んでいます。その整備によって、2019年度のCO<sub>2</sub>吸収量は267.9t-CO<sub>2</sub>でした。

また、地元の方々のご協力のもと、社員の地球環境保護に対する意識醸成の場としても活躍しています。2018年1月には、これまでの10年にわたる森林整備や地域交流などの功績が認められ、長野県森林づくり県民税活用の部にて長野県知事賞を受賞しました。

## 森林整備

日常的に「セガの森」を守り、育ててくださっている村民の皆さまにご指導いただき、森林整備の大切さや大変さを身をもって学ぶ機会として、間伐や植林などの森林整備体験を毎年秋に実施しています。



## 自然学習

自然を大切にすることが次世代へと語り継がれていくことを願い、セガサミーグループ社員とその家族と一緒に体験できる、下草刈りや農作物の収穫、魚つかみなど、毎年趣向を凝らした自然学習イベントを夏に行っています。



## 地域との交流

村民の皆さまから、「南相木村の歴史」「山歩きのコツ」「美味しい作物を育てる大変さ」などの様々なお話を通して、都会の日常では感じ取れない自然の厳しさや大切さを教わっています。



「セガの森」が誕生した、2008年から設置しているアドプトサイン(森林が「セガの森」であることを表す看板)。南相木小学校の生徒の皆さまが、「自然と共に育む未来」をテーマに絵を描いてくださいました。



魚の調理、畑仕事、ブルーベリー摘みなど、家族旅行ではなかなか手が出ないような経験ができたのが良かったです。

子ども連れで初のキャンプでしたが、村の皆さまやスタッフの皆さんのおかげで夏の良い思い出ができました。

## 参加者の声

南相木村の皆さまと一緒させていただいた時間を通して新たにふるさとができた気分になれる、村との交流という点でも大変貴重な体験をさせていただきました。

バーベキュー→温泉→花火の流れはまさに夏休み！という感じで大人も存分に楽しめました。

南相木村は総面積の8割程度を山林原野が占め、その谷間を縫うように川が流れる自然豊かな村です。

● 南相木村WEBサイト：<http://www.minamiaiki.jp/>



## セガ ヨーロッパがPCパッケージ商品を100%リサイクル可能な梱包材に切り替え

**E** セガ ヨーロッパは今後発売する、PCパッケージ商品の梱包材を完全にリサイクル可能な素材のみに切り替える取り組みを開始しました。より環境にやさしいPCゲームパッケージへの切り替えの動きは、スポーツインタラクティブ社とセガ ヨーロッパが共有する「地球温暖化対策にプラスチックの代替品を探し出すことで貢献できないか」という願いが原動力となっています。

パッケージとマニュアルには100%リサイクル再生紙を使用し、完全にリサイクルが可能な製品を採用しました。また印刷にはすべて水と植物性のインクを使用しています。ディスクについては、専門業者によってリサイクルが可能となっています。



### Top Message

セガ ヨーロッパ社長兼COO Gary Dale

セガ ヨーロッパでは「プラスチックゴミを削減し、環境にやさしいビジネスを実施する」というコミットメントを掲げています。

我々の想定では「Football Manager 2020」のタイトルだけで20トン近いプラスチック素材の軽減になります。今後すべてのPCタイトルにリサイクル可能な梱包材を適用することで、さらに大幅なプラスチックの削減になる見込みです。

エンタテインメント業界が一体となり映画、ゲーム、音楽など多岐にわたる分野で製品包装の代替の模索をすることで、プラスチック包装と関連の環境コストや廃棄コストの大幅な低減実現できれば素晴らしいことだと思います。

## 廃プラスチック問題への対応

**E** ゲームセンターのプラスチック製景品袋削減に向け、各店舗がそれぞれの地域・施設の基準に従って適切な分別を行い、産業廃棄物処理業者と契約を締結して処理することに努めています。また、店舗規模別の景品袋使用量調査や素材別コスト比較を行い、素材変更への検討を始めています。

製品梱包についても、簡易化によるごみ削減はメーカーの責任との認識に立ち、出荷時の袋を再利用するなど、最低限の梱包にとどめています。

## ゲームセンターの使用電力の削減に向けた取り組み

**E** 施設照明のLED化を進めるとともに、改装店舗を中心に空調設備の入れ替えに取り組んでいます。また、電気供給会社を統一し、各店舗が最適な電気使用量になるようモニタリングをしています。

## シーガイア ビーチクリーンinーツ葉



**R** フェニックス・シーガイア・リゾートでは、宮崎県指定天然記念物である、アカウミガメおよびその産卵地の保護を目的とした海岸清掃活動「シーガイア ビーチクリーンinーツ葉」を2015年より実施しています。

毎年、地域住民の方やスポーツ少年団などから約100名の参加をいただき、産卵で陸地に向かうアカウミガメの障害となる、家庭ごみや流木などの回収を行っています。

清掃前にはNPO法人宮崎野生動物研究会会員で、宮崎市フェニックス自然動物園園長の出口 智久氏よりアカウミガメに関するお話をいただき、その生態を学ぶ場も設けています。

2020年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響もあり、地域の皆さまとの活動は中止していますが、これからも活動を継続する予定です。



毎年行われているビーチクリーン



## 環境に関するデータ

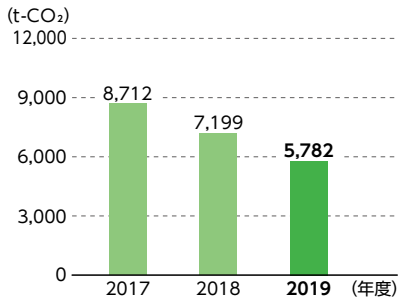
### 対象範囲

データ集計範囲 14社

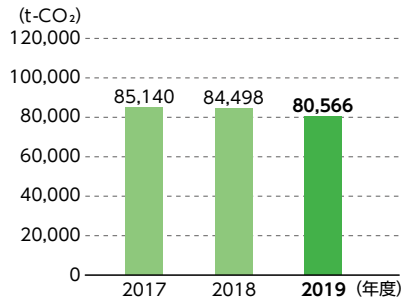
●SSHD/SHD/SAMMY/BTF/DL/ELEC/PSR/SE/SGC/ SIC /SLS/ SNW/TMS/TOYS

※ 略称は、P.2参照

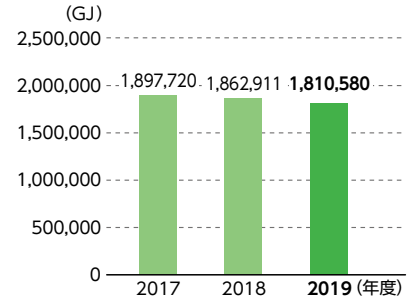
### ● CO<sub>2</sub>排出量(スコープ1)



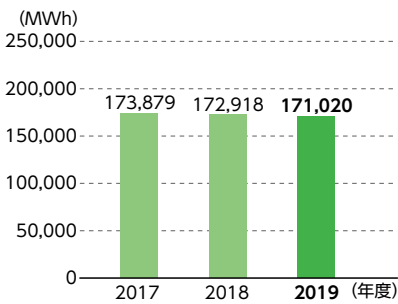
### ● CO<sub>2</sub>排出量(スコープ2)



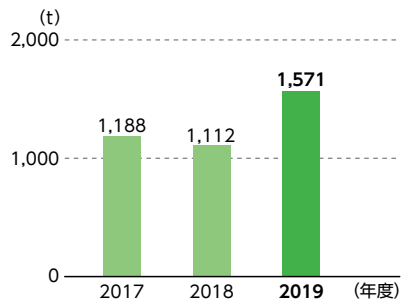
### ● 総エネルギー投入量



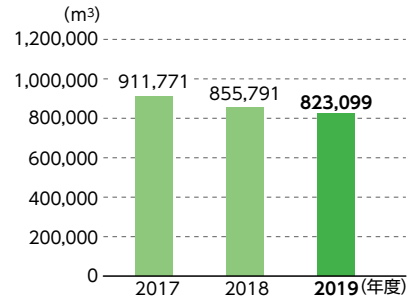
### ● 電力使用量



### ● 産業廃棄物排出量



### ● 水使用量



- ・集計データの一部延床面積による推計値を含みます。
- ・CO<sub>2</sub>総排出量の減少は、燃料使用量及び電気使用量の削減が主要因です。
- ・購入電力のCO<sub>2</sub>排出係数：各報告年度の前年度の電気事業者別の調整後排出係数を使用しています。

### ● 環境法令違反件数

	2017年度	2018年度	2019年度
環境法令違反件数	0	0	0

### ● サミー川越工場における環境配慮の状況

		2017年度	2018年度	2019年度	備考
遊技機のリサイクル率の推移	リサイクル率 (%)	95.99	95.00	95.40	ぱちんこ・パチスロ合算
	環境配慮素材の利用				
	木材使用量 (t)	566	370	215	
	うちPEFC認証木材*	38t(6.8%)	51t(13.8%)	7t(3.3%)	

- ・接着剤は、水系接着剤を含めて川越工場では使用していません。
- ※ PEFC認証木材：PEFC森林認証プログラム(Programme for the Endorsement of Forest Certification Schemes)により認証され、第三者機関より持続可能な森林管理の認証を受けた森林より適切に調達された木材です。PEFC認証木材が使用できる製品の生産量が減少したことにより、使用量が減少しました。



# 社会とともに



## グループCSR憲章

私たちは、企業市民として社会を構成する一員であることを強く自覚し、事業活動等を通じた社会貢献、芸術・スポーツなどの文化の発展支援、地球環境保護への取り組みを、積極的かつ自主的に行います。

## グループ行動規範

### 「本業の繁栄」

(1) お客さまに喜んでいただける商品・サービスの提供により本来の事業の繁栄を常に目指し、納税・雇用の創出により社会に貢献することを忘れません。

### 「社会への貢献」 「寄付」

- (2) 事業活動を通じて社会に貢献するのみならず、芸術・スポーツなどの文化の支援にも積極的かつ自主的に取り組み、豊かな社会の実現に貢献します。
- (3) 寄付を含む社会貢献活動を行う際は、税法・商法・政治資金規正法等の関係法令に従って定められた社内ルールを遵守して、公正正大に行います。

### 「地域社会」

(4) 地域社会との連帯と協調を図り、地域に根ざす企業として積極的かつ自主的な交流に努めます。

## VOICE 1 プログラミングを楽しみながら体験できるイベント・ワークショップを開催!

子どもたちの成長を支援します!



(株)セガエンタテインメント  
業態企画部 楽し場研究所

原田 桂輔  
(Harada, Keisuke)

楽し場研究所では、「既存ゲームセンター以外の新しい感動体験ができる場」を提供するために、企画立案から活動を行っています。「セガラボ\*」も、“小学校でプログラミングの授業が2020年から始まるなか、なにが面白いことはできないか?”というところから実験的にイベントがスタートし、現在、ショッピングセンターや小学校の公共施設などを中心に全国各地で活動を行い、6,000名以上の方々にご体験いただいています。セガラボのプログラミング体験を通じ、「もっと学びたい!」「もっとやってみたい!」と“楽しさ”を感じてもらえたら最高です!そして、

我々のご提供するイベントを通じて、子どもたちがもつ無限の可能性が少しでも広がることに貢献できたらと考えています。

今後は、プログラミングだけでなくセガサミーグループのコンテンツ・エンタメ力と学びを結び付け、世の中にもっと面白く、楽しいイベントを発信し、次世代の子どもたちへ支援を続けたいと考えています。

<https://sega-lab.com/>

## SEGA LAB

セガ楽し場  
研究所

立野小学校 放課後  
キッズクラブ  
内山 恒子  
(Uchiyama, Tsuneko)



「プログラミング教室」は子どもにとって「学び&ワクワクドキドキ体験」ができる最高のイベントです。可愛いM-BOTを操作しながら自然とプログラミングとは何かを学び、目を輝かせながら自分のM-BOTと迷路で悩んだり考えたり喜んだり、最後のサッカー対決では勝っても負けても盛り上がり、みんなすごく良い顔をしていました。私達職員も学ぶことが多かったです。これからも子ども達のために「学び&体験」ができるプログラムをドンドンお願いします。



特定非営利  
活動法人  
Woodcraft  
(ウッドクラフト) 横浜市



森の台小学校 放課後  
キッズクラブ  
太田 由紀子  
(Oota, Yukiko)

## 次世代 教育支援

放課後キッズクラブ向けのプログラミング体験でお世話になりました。M-BOT(エムボット)やドローンを使った楽しい内容で、好奇心いっぱいの子供達は目を輝かせて取り組みました。保護者からは学校の授業に先駆けてのプログラミング体験ということもあり、大変喜ばれました。今後も刺激的で楽しいセガラボワークショップに期待しています。



## VOICE 2

### 元Jリーガーの経験を活かし、アスリートと街をつなぎ、元気にする



(株)MPandC

野田 恭平

(Noda, Kyohei)



MPandCでは、スポーツによる街(マチ)の活性化、アスリートのセカンドキャリア創出、子どもたちへの「ほんもの感動体験」を目的としたアスリートと街をつなぐ『アスマッチプロジェクト』をCSR活動として行っています。香川真司選手や内村航平選手といった日本を代表

する多くのアスリートの方々が本プロジェクトに参同くださり、全国各地のイベントと一緒に盛り上げてくれています。

また、MPandCでは、引退したアスリートがセカンドキャリア、現役アスリートがデュアルキャリアとして活躍しており、私自身もJリーガーとして東京ヴェルディなどでプレーしたアスリート経験を活かし、ビジネスの舞台で日々挑戦を続けています。

これからもスポーツの力で街を、そして日本を笑顔にしていきたいと思います。



## VOICE 3 会社見学



アニメ制作の説明を受ける海外からの留学生(慶応義塾大学)

トムス・エンタテインメントでは、企業研修で東京に来る地方の中学生や高校生ならびに留学中の外国人大学生を対象に会社見学の受け入れを行っています(2019年度は中野区の小学生も含め8団体・計約80名が来訪)。試写室でアニメ制作工程、実物の絵コンテ、原画などを見られますが、実際に使用された絵素材を手にとって見ることが刺激的なようで、次々と鋭い質問が飛んできて内心焦ることもあります。また「○○(当社の作品名)が大好きです」と言われることも少なくありません。

今後もこの活動を通じて、一般的にはあまり知られていないアニメ業界の理解の一助になれば、と考えています。

(株)トムス・エンタテインメント  
コーポレート本部 業務部



前田 修平 (Maeda, Shuhei)



八重野 明子 (Yaeno, Meiko)

勝治 公美子 (Shoji, Kumiko)

## 社会支援

### SEGASAMMY College×品川女子学院 共創プロジェクト



SEGASAMMY Collegeでは、セガサミーグループ本社近郊にキャンパスを構える品川女子学院とともに、セガが開発したプリクラ機「fiz(フィズ)」とタイアップし、「夢のプリクラ」の企画を行う共創プロジェクトを実施しました。

品川女子学院は、28歳の自分を思い描き、それを実現するためには何が必要か、どう行動すべきかを模索しながら、理想とする未来に向かっていくことを大切にしています。この教育理念に、セガサミーのDNAである「創造は生命×積極進取」が共鳴し、共創プロジェクトが始まりました。

クラス中に溢れる笑顔、チャイムの後も途絶えぬ質問の数々。

共創プロジェクトを通じ、感動体験を創造する楽しさや喜びを体験していただくとともに、私たちもこのプロジェクトで得た新たな視点や刺激を「社会をもっと元気にカラフルに。」するための原動力にしていきたいと思っています。





## 社会支援

### スポーツダーツプロジェクト



ダーツライブは、誰一人取り残さない世界の実現を目指し、健康寿命を延ばせるスポーツとしてダーツを普及するプロジェクトを開始しました。2019年度は横浜市を中心に、小学校では4回、老人福祉施設で6回、ダーツイベントを実施しました。2020年度はそこで培ったノウハウをブラッシュアップさせ、その実績を全国へ普及していくために特設サイトをスタート。今後もスポーツとしてのダーツで新たな時代を創造していきたいと思えます。



スポーツダーツプロジェクト  
<https://sportsdarts.jp/>

### ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド



社会福祉法人 横浜市リハビリテーション事業団が主催する福祉の総合イベント「ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド」(愛称：ヨッテク) は、福祉機器の体験展示や最新技術の紹介、障がい者の自立と社会参加の可能性を広く市民に知っていただくため、



毎年、多くの障がい者をはじめ、支援者、家族、福祉機器メーカーなど、たくさんの方が参加しています。セガサミーグループでは、開催の趣旨に賛同し、景品の提供などで協力するとともに、本イベントを通して、障がい者も健常者もともに生きる社会の構築に向けて、一緒に考えていきます。



### NPOとの協働による 玩具の寄贈と玩具除菌活動



2009年度より継続し11回目を迎えたこの取り組みは特定非営利法人日本NPOセンターとともに非営利団体を選定し寄贈しています。

小児がんや小児の難病治療の家族の滞在支援をする認定NPO法人 ファミリーハウスさまへ、病室のベッドで過ごすお子さんとご家族に笑顔と勇気をお届けするためにセガトイズの商品100点(2019年度分)と不織布マスク500枚をお届けしました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響で多くの病院では面会制限が行われ、病気のお子さんご家族にとってこれまで以上に「つながり」や「きずな」が感じられる支援が必要になっています。

玩具を気持ちよくお使いになっていただけるよう、当社グループの社員が宿泊施設を訪問し、一般のボランティアの方々と一緒に玩具やぬいぐるみの除菌作業を行っています。今後もすべての子どもたちとその家族が笑顔になっていただける取り組みを目指していきます。



ファミリーハウスさまからの寄付報告書

### 子どもの食の支援



グループの事業や施設利用を通して「子どもの成長を支えたい」という思いから、サミーでは『ユニバーサルカーニバル×サミーフェスティバル2020』で配布する予定だったオリジナルパッケージの菓子「うまい棒」を子ども食堂へ寄贈しました(児童クラブを運営するNPO法人や児童養護施設など26ヶ所、計57,000本を寄贈)。遊技機業界内でも子ども食堂への支援の輪は広がっています。このほか、フェニックス・シーガイア・リゾートは、自社農園で採れた野菜を継続的に寄贈しています。子どもたちの笑顔のために役立つことは嬉しく、今後も食品に

限らず支援活動を行っていきます。



しながわ子ども食堂ネットワークの方へお菓子を寄贈する  
セガサミーホールディングス広報部



©UNIVERSAL ENTERTAINMENT  
©Sammy







NPO法人 日本障害者ゴルフ選手会



日本国内における障がい者ゴルフを取り巻く環境は、一般社会への認知度の低さに加えて、障がい者への周知もまだ十分とはいえ、障がい者が自由にゴルフを楽しめる機会や環境も少ないのが現状です。すべての障がい者ゴルファーが、ゴルフに接する機会をより多く持ち、生涯スポーツとして楽しむことができる活動も併せて進めていく必要があります。

セガサミーグループは、寄付や告知活動などを通じ、障がいがあっても生きがいを持って安心して楽しく過ごすことができる社会づくりに貢献していきます。



ジュニアスポーツフェスティバル



セガサミーグループは、「長嶋茂雄 INVITATIONAL セガサミーカップゴルフトーナメント」の開催地である千歳市、近隣の恵庭市、苫小牧市の小中学生を対象に、それぞれの競技のトップアスリートが直接指導を行うスポーツ教室「セガサミージュニアスポーツフェスティバル」を開催しています。13回目の開催予定であった2020年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止を余儀なくされましたが、今後もこのイベントが子どもたちの成長に貢献できるよう、活動を継続していく予定です。

TOKYO JAZZ FESTIVAL



セガサミーグループは、芸術・文化支援活動の一環として、世界中から一流のジャズアーティストが一堂に会する国内最大級のイベント『東京JAZZ(2020年からTOKYO JAZZ + plus)』への特別協賛を2002年の第1回開催より継続しています。「国境を越えて、世代を超えて」をテーマに毎年開催、良質な都市型音楽フェスティバルとして高い評価を得ています。2020年5月23・24日にて予定されていたTOKYO JAZZ + plus 2020は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためホール公演等がすべて中止となりましたが、一般社団法人セガサミー文化芸術財団では、いち早く実演の機会を失ったアーティストたちへの実演機会の提供と世界中の新型コロナウイルス感染症と戦う人々への芸術に接する機会創出のためのインターネット配信形式での無観客ライブ『TOKYO JAZZ + plus LIVE STREAM』への支援を世界で唯一表明。2020年5月

23・24日配信され、12万5,000人が視聴しました。



TOKYO JAZZ + plus LIVE STREAM

セガサミーカップ学童軟式野球大会



セガサミーグループは、東京都学童野球のレベルアップという大会の目的に賛同し、「セガサミーカップ学童軟式野球大会」に特別協賛しています。2019年、11回目の開催となった大会には16チームが出場。八王子市のセガサミー野球場と滝ガ原運動場野球場で、約320名の選手たちが熱戦を繰り広げました。また開会式当日には、セガサミー野球部現役選手による野球教室や、セガサミー野球部監督・コーチによる指導者向けの講習会など、野球教育のボトムアップの一助となるイベントも行われました。大会前に開催した講習会にはセガサミー野球部のキャプテンの宮川選手、陶久選手、砂川選手の3名が参加し、体験談を交えながら会場を沸かせました。累計参加者数約2,500名を誇るこの大会が、子どもたちの夢を叶えるステージになれるよう、今後も協賛活動を続けていきます。



## U-18フリーキック選手権



MPandCでは、毎年、子どもたちの夢を達成させる場所として、ヴィッセル神戸監督 三浦淳寛氏および元国際審判員 西村雄一氏による監修のもと、地域とともにCSR活動の一環として『U-18フリーキック選手権』を開催しています。「世界で勝つために、日本をフリーキック大国に」をスローガンとし、中高生がフリーキックで勝敗を競う新たな大会で、日本のフリーキックレベル向上を目指しています。2019年はサッカー元日本代表キャプテンである柱谷哲二氏も大会スペシャルアンバサダーとして参加し、フリーキック選手権の前に行うキッズ

サッカークリニックで指導にあたりました。柱谷氏が子どもたちと全力で向き合い、「サッカーの楽しさ」「考えてプレーすることの大切さ」を伝えてくれたことで、会場は「ほんもの感動体験」に目を輝かせながら参加する子どもたちの笑顔で溢れていました。MPandCでは、このような活動を全国展開し、スポーツで日本中の人々を笑顔にしていきたいです。



## 地域活動

### 児童養護施設訪問(東京都八王子市)



セガサミー野球部は、拠点のある八王子市内の児童養護施設(3ヶ所)を、2010年より毎年12月に訪れ、

クリスマスイベントとして、子どもたちと交流を図っています。

2019年は野球部員11名が訪問し、クリスマスプレゼントを贈呈。ティーボールで体を動かしたり、たくさんの笑い声が溢れました。今後も地域との交流を図り、地域の方々に愛される野球部を目指していきます。

### 産業まつり「佐倉モノづくりFesta2019」 (千葉県佐倉市)



セガ・ロジスティクスサービスでは、『佐倉モノづくりFesta』に地域貢献の一環として2012年より毎年出展しています。

2019年は「志津コミュニティセンター」の常設ブースにUFOキャッチャーを出展し2日間で約15,000人が来場しました。今後も地域社会の一員として活動していきます。



### ちびっこレース(岐阜県各務原市)



オアシスパークは、子育て支援の一環として、春と秋の年2回「ちびっこレース」を開催しています。レースはお子さまの成長に合わせて、はいはいレース(未歩行の赤ちゃん)・かたかた



レース(2歳未満)・ぶーぶーレース(2歳)・三輪車レース(3歳から5歳)に分かれています。一生に一度のチャンスとあって、毎回たくさんのお子さまに参加いただいています。3世代での参加も多く、写真を撮って懸命に応援するほほえましい姿が見られます。また、育児を頑張っている親御さん同士の交流の場にもなっており、「良い刺激になる」と好評をいただいています。これからも、「思い出づくりのお手伝い」を通して子育て支援をしていきます。

### 地域学生の職業観醸成、マナー向上支援 (宮城県宮崎市)



フェニックス・シーガイア・リゾートでは、地域の中学、高校、大学に協力し、学生の職業観の早期醸成、マナー向上のために社会体験研修や講話、見学会などを実施しています。

マナー講座(出前授業)では、社会体験前の事前講習や進学・就職を目指す学生の面接指導などを行い、見学会では、福祉科の高校生へバリアフリールームの見学や相手に与える印象をワンポイントマナー講座でお話しています。

今後も、お客さまの快適な時間を創造するフェニックス・シーガイア・リゾートだからこそ伝え、提供できる支援をし、地域の成長発展に貢献していきます。



施設はこちらから

<https://www.oasispark.co.jp/>



# SEGA Sammy

## HOLDINGS

### セガサミーホールディングス株式会社

CSR・SDGs推進室

〒141-0033 東京都品川区西品川一丁目1番1号 住友不動産大崎ガーデンタワー

TEL: 03-6864-2408

URL: <https://www.segasammy.co.jp>

セガサミーグループのCSR・SDGs活動をお届けする公式Twitterアカウントを開設



2020年4月、CSR活動をはじめとしてSDGs、コンプライアンス、働き方などに関わる情報を発信するTwitterアカウントを開設しました。

発信と受信の双方向コミュニケーションを通じて社会とのつながりをさらに広げ、深めるとともに、お客さまにセガサミーグループをより身近に感じていただけるようなフレンドリーな発信を行ってまいります。ぜひフォローをお願いいたします。



セガサミーCSR【公式】  
[@SEGASAMMY\\_CSR](https://twitter.com/SEGASAMMY_CSR)



#### 免責事項

本レポートには、セガサミーグループの過去と現在の事実だけでなく、社会情勢に関する予想や発行日時点での経営計画や見通し、将来予測が含まれています。これらの予想・予測は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、諸条件の変化によって、将来の社会情勢や事業活動の結果が異なったものとなる可能性があります。読者の皆さまには、ご了承くださいますようお願い申し上げます。



だれにも読みやすい、ユニバーサルデザインフォントを使用しています。